Colorio

PM-A750
操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

—— 本書は製品の近くに置いてご活用ください。——

もくじ

印刷用紙のセット方法

コピー

メモリカードから写真プリント

フィルムから写真プリント

デジタルカメラから直接印刷

パソコンとつないで使う / もっと活用する

メンテナンス

困ったときは（トラブル対処方法）

付録

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

!注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

製品使用上のご注意

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

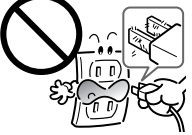
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		

設置上のご注意

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10～35℃ 20～80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。

⚠警告	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所には設置しないでください。** 火災・感電の原因となります。

⚠注意	**不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子さまの手の届くところ、他の機械の振動が伝わるところなどには、設置、保管しないでください。** 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。	
	湿気やホコリの多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光のあたる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。 感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。 次のような場所には設置しないでください。 • 押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い場所 • じゅうたんや布団の上 壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。 また、毛布やテーブルクロスのような布をかけないでください。	

電源に関するご注意

⚠警告	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電の原因となります。	
	指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。 **また、電源コードのたこ足配線はしないでください。** 指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。家庭用コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。	
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードが破損したら、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	
	電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると火災の原因になります。 • 電源はホコリなどの異物が付着したまま差し込まない • 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。	
	添付のコード以外の電源コードは使用しないでください。また、添付の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	

⚠注意	**電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	

使用上のご注意

⚠警告	**煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	
	通風口などの開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。	
	（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。	
⚠注意	**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。 また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。	
	各種ケーブル（コード）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。	
	本製品とコンピュータ（または他の機器）をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。 各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピュータ（または他の機器）側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。	
	本製品を保管 / 輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。	
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。	
	本製品を移動する場合は、安全のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><td rowspan="4">⚠注意</td><td>インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。
目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジを分解しないでください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。</td><td></td></tr>
</table>

メモリカード使用時のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

各部の名称と働き

1 エッジガイド

セットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

2 用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

3 オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に連続して給紙します。

4 給紙口カバー

本体内部に異物が入るのを防ぐカバーです。

5 スキャナユニット

インクカートリッジの取り付けや交換時、用紙が詰まったときなどに取っ手に手をかけて開けます。
印刷中、スキャン中、コピー中は開けないでください。

6 メモリカードスロット / カバー

カバーを開いてメモリカードをセットします。セット後はカバーを閉じて使用します。

7 排紙トレイ

排出された用紙を保持します。

8 PictBridge/USB DIRECT-PRINT 対応機器接続コネクタ

PictBridge/USB DIRECT-PRINT に対応したデジタルカメラを接続するコネクタです。

9 カートリッジ固定カバー

インクカートリッジの取り付け時や交換時に開きます。取り付け後、カバーを閉じることでカートリッジが固定されます。

10 プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。外からは見えません。

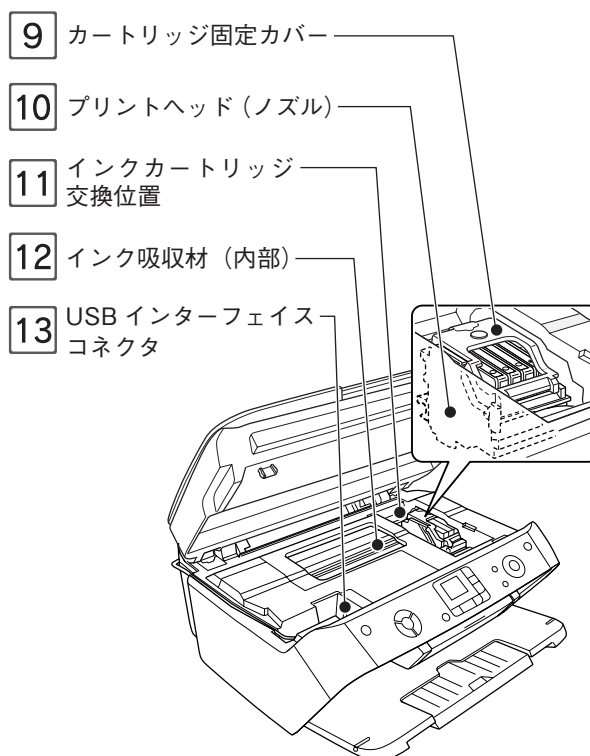
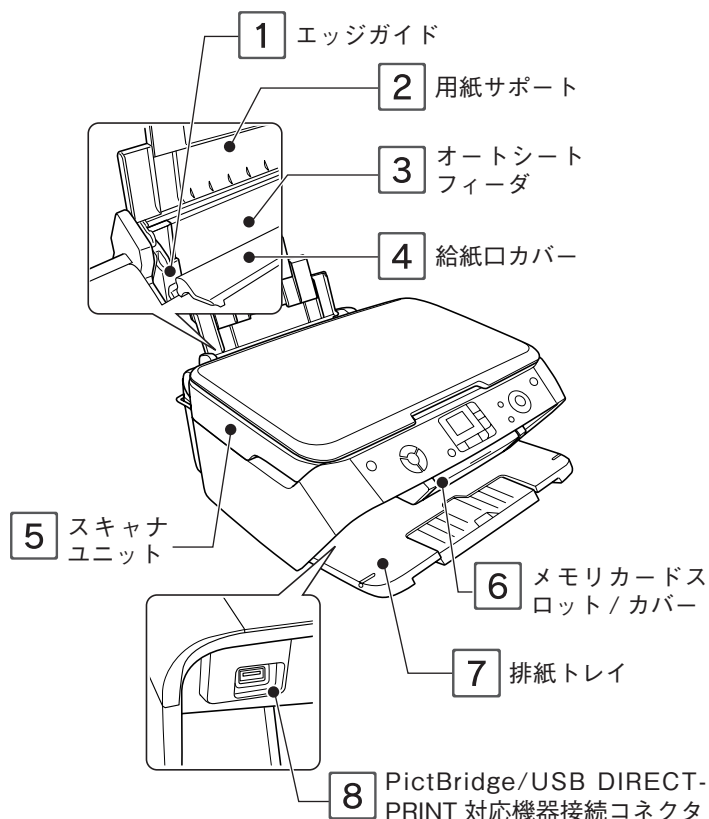
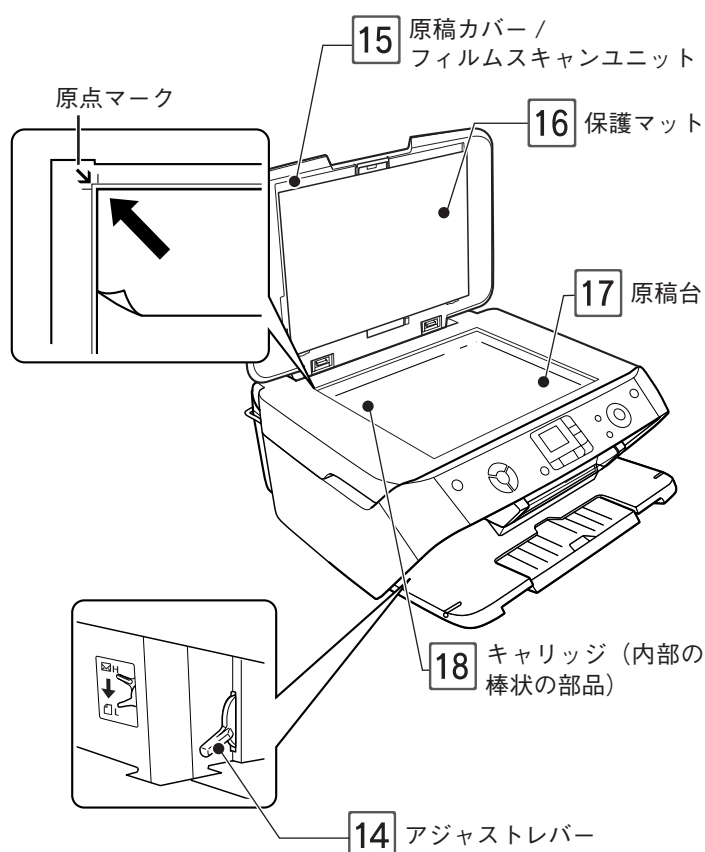
11 インクカートリッジ交換位置

インクカートリッジの取り付け時や交換時には、プリントヘッドがこの位置に移動します。

12 インク吸収材（内部）

四辺フチなし印刷時に、はみ出したインクを吸収します。内部に付いたインク（黄、赤、黒など）はふき取らずに、そのままお使いください。

13 USB インターフェイスコネクタ

USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

14 アジャストレバー

プリントヘッドと用紙の間隔を切り替えます。
通常は下の位置（用紙マークの位置）で使用します。
封筒などの厚い紙を使用する場合は、上（封筒マークの位置）にスライドさせます。

15 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- 原稿台に原稿をセットするときに開けます。セット後は原稿カバーを閉じて外部の光をさえぎります。
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）をスキャンするときは、保護マットを取り外して、フィルムスキャンユニットとして使用します。
- 保護マットを取り外すと、フィルムホルダを収納するスペースがあります。
  本書 46 ページ「フィルムホルダの収納」

16 保護マット

- 写真や書類など（反射原稿※といいます）をスキャンするときは、必ず取り付けてください。
  ※光を反射する原稿
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）をスキャンするときは、取り外します。

17 原稿台

原稿のスキャンする面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

18 キャリッジ（内部）

ガラス面の下の内部にある棒状の部品で、原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、スキャン時に移動します。

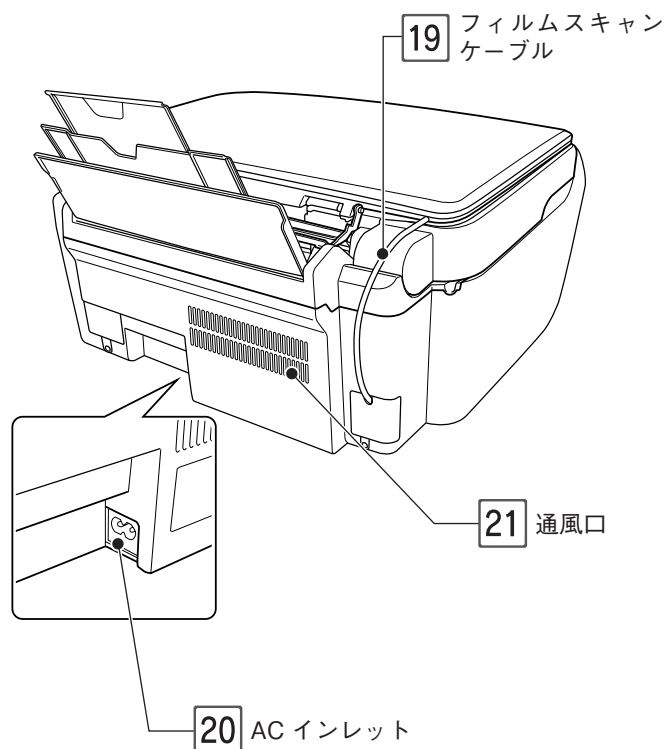
19 フィルムスキャンケーブル

フィルムをスキャンするときに使用します。（取り外しはできません。）

20 AC インレット

電源コードのプラグを接続します。

21 通風口

本製品の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。
また通風口のそばには物を置かないでください。

操作パネルの基本操作

1 電源オン

【電源】ボタンを押すと、電源ランプが数回点滅してから点灯します。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、使用可能状態です。

本製品の初期動作が終了するまでの間、液晶ディスプレイ上には起動画面が表示されます。

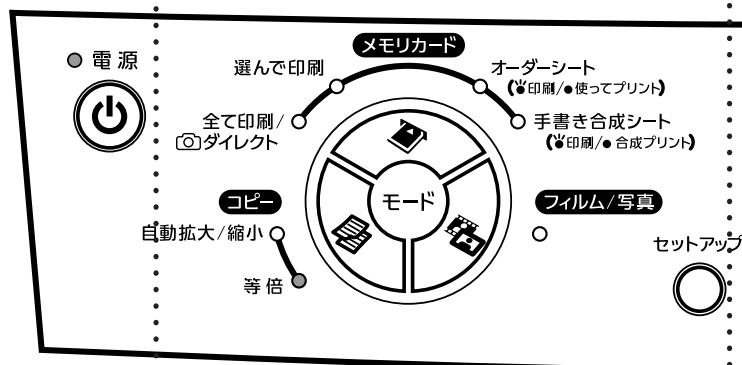
電源オフ

【電源】ボタンを押すと、終了動作後、液晶ディスプレイとすべてのランプが消えます。

！注意

電源のオン / オフは、電源プラグの抜き差しで行わず、必ず本体の【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオン / オフしないと、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

2 モード選択

【モード】ボタンでやりたいことを選択します。

【コピー】

原稿台にセットした原稿をコピー（スキャンして印刷）します。

※【コピー】ボタンを押すたびに［等倍］と［自動拡大 / 縮小］が切り替わります。［自動拡大 / 縮小］は、原稿と印刷用紙のサイズが異なる場合にのみ選択します。

【メモリカード】

デジタルカメラや携帯電話のメモリカードを使って、写真プリントします。

※【メモリカード】ボタンを押すたびに［全て印刷 / ダイレクト］、［選んで印刷］、［オーダーシート（印刷）］、［オーダーシート（使ってプリント）］、［手書き合成シート（印刷）］、［手書き合成シート（合成プリント）］の順に切り替わります。
DPOF 情報の入ったメモリカードセット時やデジタルカメラ接続時は［全て印刷 / ダイレクト］のランプが点灯します。

参考

［オーダーシート（印刷）］と［手書き合成シート（印刷）］の選択時は、それぞれのランプが点滅表示されます。

【フィルム / 写真】

フィルム、または写真をスキャンして、写真プリントします。

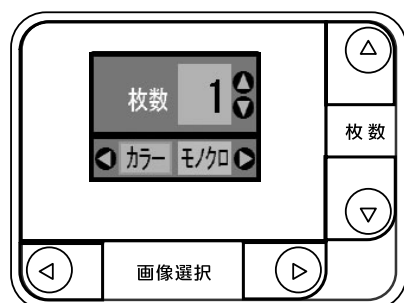
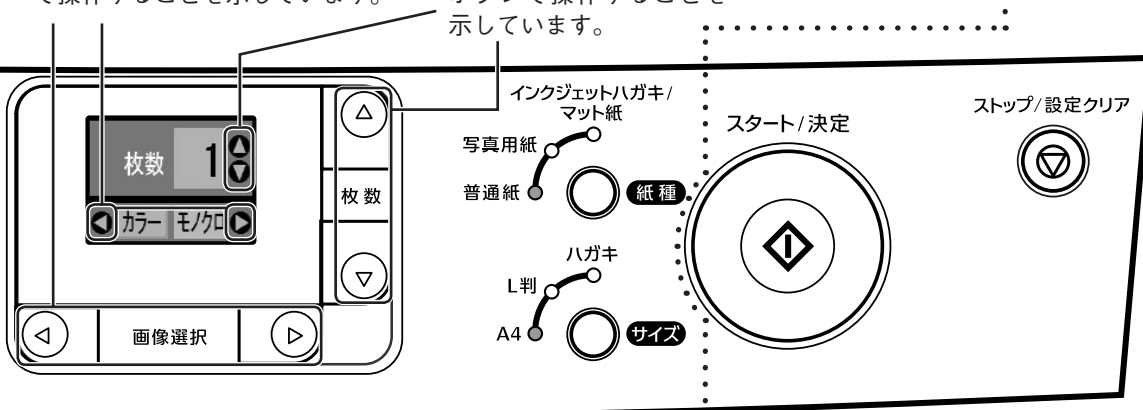
【セットアップ】

本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」

3 設定

液晶ディスプレイの画面を見て画面の右と下にあるボタンで操作します。

操作パネルの【◁】/【▷】ボタンで操作することを示しています。

操作パネルの【△】/【▽】ボタンで操作することを示しています。

- 枚数（【△】/【▽】）ボタン
  コピー部数 / 印刷枚数の設定や、設定値を選択するときなどに使用します。
- 画像選択（【◁】/【▷】）ボタン
  画像や設定項目を選択するときなどに使用します。

- 【紙種】ボタン
  用紙の種類を設定します。

- 【サイズ】ボタン
  用紙のサイズを設定します。

参考

- 【ストップ / 設定クリア】ボタンを押すと、設定した内容をすべて無効（クリア）にし、各モードの初期画面に戻ります。
- 約 13 分間操作をしないと、ディスプレイのライトが消えてスリープモードになります。操作画面に戻すには、【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

4 印刷実行

【スタート / 決定】ボタンで印刷を実行します。

【スタート / 決定】

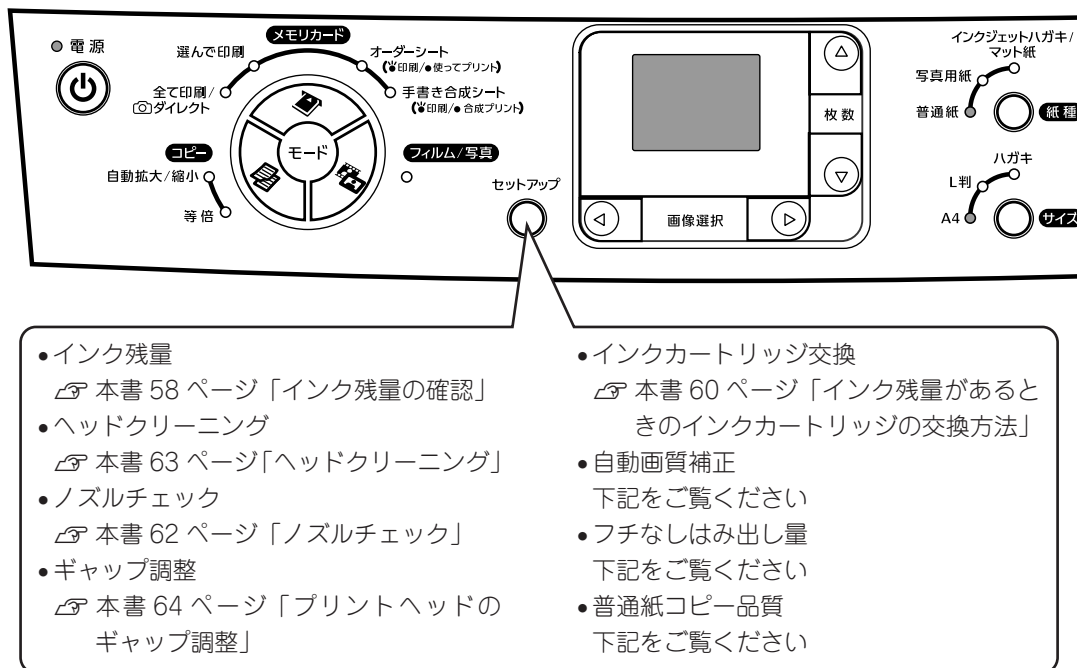
印刷を開始する時や、[セットアップ] モードの各項目を実行 / 設定する時に押します。
用紙がなくなった場合や用紙が内部に詰まった場合など、エラー発生時に押すこともあります。

【ストップ / 設定クリア】

印刷が中止されます。
印刷中止までには多少時間がかかる場合があります。

【セットアップ】ボタンについて

以下の設定や確認ができます。

- インク残量
  ☞ 本書 58 ページ「インク残量の確認」
- ヘッドクリーニング
  ☞ 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」
- ノズルチェック
  ☞ 本書 62 ページ「ノズルチェック」
- ギャップ調整
  ☞ 本書 64 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
- インクカートリッジ交換
  ☞ 本書 60 ページ「インク残量があるときのインクカートリッジの交換方法」
- 自動画質補正
  下記をご覧ください
- フチなしはみ出し量
  下記をご覧ください
- 普通紙コピー品質
  下記をご覧ください

自動画質補正、フチなしはみ出し量、普通紙コピー品質は次の手順で設定します※1。

※ 1: ここでは［自動画質補正］の場合を例に説明していますが、他の項目も同様の手順で設定できます。設定値の詳細については、下表をご覧ください。

①【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにする

②【▷】か【◁】ボタンで項目選択
③【スタート / 決定】ボタンを押す

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【スタート / 決定】ボタンで設定終了※2

※ 2: 元の画面に戻るには、【セットアップ】ボタンを押します。（インフォメーション画面が表示された場合には、内容を確認して【スタート / 決定】ボタンを押した後、【セットアップ】ボタンを押します。）

設定項目	設定値の詳細	
自動画質補正 写真を最適な色合いに自動補正して、印刷します。	なし	：画像を補正せずに印刷します。
	P.I.M.	：PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。
	オートフォトファイン	：画像に合わせて最適な補正をして印刷します。
	Exif	：ExifPrint（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。
フチなしはみ出し量 四辺フチなし印刷時の拡大率（裁ち落とし量）※3 を設定します。	標準	：原稿の拡大率が標準（フチが完全になくなります。）
	少ない	：原稿の拡大率がやや小さい（余白が出る場合があります。）
	より少ない	：原稿の拡大率が小さい（余白が出る場合があります。）
普通紙コピー品質 コピー品質を設定します。	速い	：標準のコピー品質
	エコノミー	：低品質（印刷速度は速い）
	きれい	：高品質（印刷速度はやや遅い）

※ 3: 四辺フチなし印刷は、原稿を用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。［フチなしはみ出し量］では、四辺フチなし印刷の際の拡大率（裁ち落とし量）を設定することができます。なお、本番の印刷前に、試し印刷することをお勧めします。

印刷できる用紙

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しています。市販の普通紙にも印刷することができますが、よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙

用紙名称		特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
写真用紙	写真用紙 クリスピア ＜高光沢＞	かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L判	50枚	KL50SCK	☞19ページ
				100枚	KL100SCK	
			2L判※2	20枚	K2L20SCK	
			六切※1	50枚	K6G50SCK	
			A4	20枚	KA420SCK	
	写真用紙 ＜光沢＞	美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	カード※2	50枚	KC50PSK	
			L判	20枚 50枚 100枚 200枚 300枚	KL20PSK KL50PSK KL100PSK KL200PSK KL300PSK	
			2L判※2	20枚 50枚	K2L20PSK K2L50PSK	
			六切※1	50枚	K6G50PSK	
			A4	20枚 50枚 100枚 250枚	KA420PSK KA450PSK KA4100PSK KA4250PSKN	
	写真用紙 ＜絹目調＞	長期間色あせにくい、耐光性、耐水性に優れた光沢感を抑えた写真用紙です。	L判	20枚 100枚	KL20MSH KL100MSH	
			2L判※2	20枚 50枚	K2L20MSH K2L50MSH	
			A4	20枚	KA420MSH	
光沢紙	光沢紙	厚口タイプの光沢紙です。	A4	20枚 50枚 100枚	KA420GP KA450GP KA4100GP	
マット紙	フォトマット紙	光沢のない落ち着いた質感のマット紙で、耐久性、耐光性に優れた専用紙です。	A4	50枚	KA450PM	
	スーパーファイン紙	写真入りカラー文書、インターネット出力、さまざまな用途に最適な用紙です。	A4※1	100枚 250枚	KA4100NSF KA4250NSF	
	両面マット紙 ＜再生紙＞	あなただけのオリジナル名刺を1枚から作れます。両面印刷対応です。	名刺※1	100枚	KNC100MPD	
普通紙	両面上質普通紙 ＜再生紙＞	ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙100%配合の再生紙）です。	A4	250枚	KA4250NPD	☞16ページ

※1 パソコンからの印刷にのみ対応

※2 パソコンからの印刷、またはオーダーシート印刷にのみ対応

次ページへ続く

	用紙名称	特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
ハガキ	写真用紙<絹目調>はがき	長期間色あせにくい、耐光性 / 耐水性に優れた光沢感を抑えた、ハガキサイズの写真用紙です。	ハガキ	20 枚	KH20MSH	☞17 ページ
ハガキ	スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。	ハガキ※1	50 枚	MJSP5	☞17 ページ
バラエティ用紙	ミニフォトシール	16 分割の小さなオリジナルシールができます。	ハガキ※1（16 分割）	5 枚	MJHSP5	☞19 ページ
バラエティ用紙	スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーが手軽につくれる、裏面糊付きのラベルシールです。※全面シールです。ミシン目はありません。	A4※1	10 枚	MJA4SP5	☞19 ページ
バラエティ用紙	アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、アイロンを使って衣類などに転写可能な特殊用紙です。※ 転写できる素材は、「綿 100%」または「綿 50%以上の混紡」です。	A4※1	5 枚	MJTRSP1	☞19 ページ

※ 1 パソコンからの印刷にのみ対応

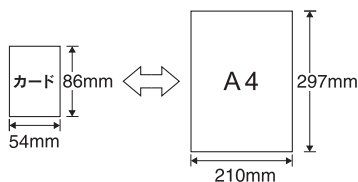
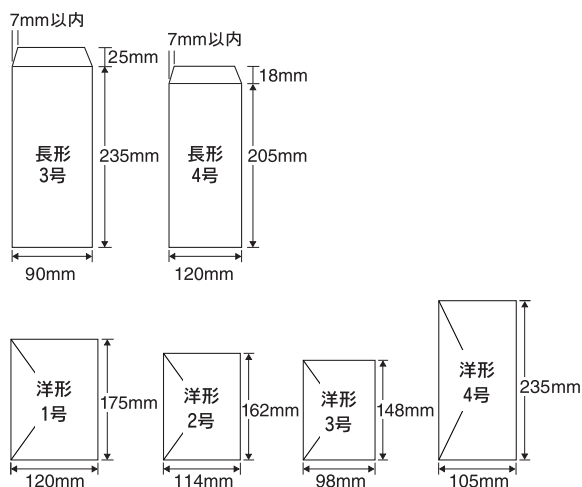
（2005 年 7 月現在）

市販の用紙

用紙名称	サイズ	セット方法	備考
コピー用紙 事務用普通紙	下図「使用できる定形の用紙サイズ」を参照	☞16 ページ	坪量 64 ～ 90g/m^2、厚さ 0.08 ～ 0.11mm の範囲のものをご使用ください。
郵便ハガキ（再生紙）※2 郵便ハガキ（インクジェット紙）※2 郵便光沢ハガキ（写真用）※1※2	ハガキ	☞17 ページ	写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
往復郵便ハガキ※1※2	往復ハガキ	☞17 ページ	中央に折り目のないものをお使いください。
封筒※1	下図「使用できる封筒のサイズ」を参照	☞18 ページ	

※ 1 パソコンからの印刷にのみ対応
※ 2 日本郵政公社製

使用できる定形の用紙サイズ

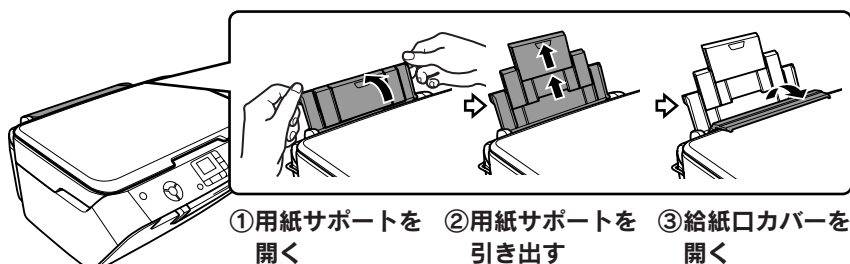
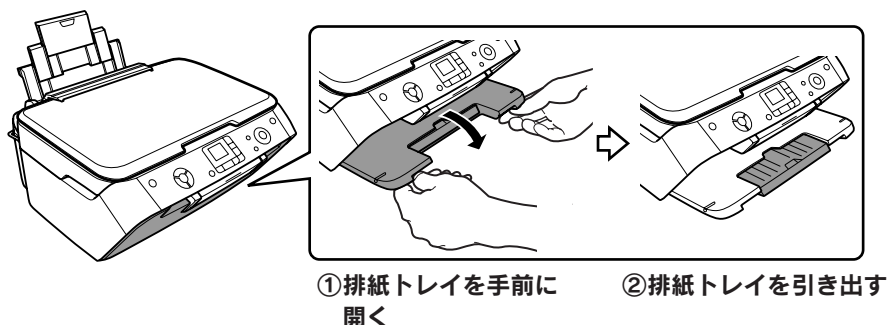
最小で 54 × 86mm（カード）
最大で 210 × 297mm（A4）

使用できる封筒のサイズ

基本的な用紙のセット方法

オートシートフィーダへの用紙のセット

オートシートフィーダ（自動給紙装置）への基本的な用紙のセット方法を説明します。用紙種類ごとの注意事項やセット枚数の制限については、次ページ以降に記載の各用紙のセット方法をご確認ください。

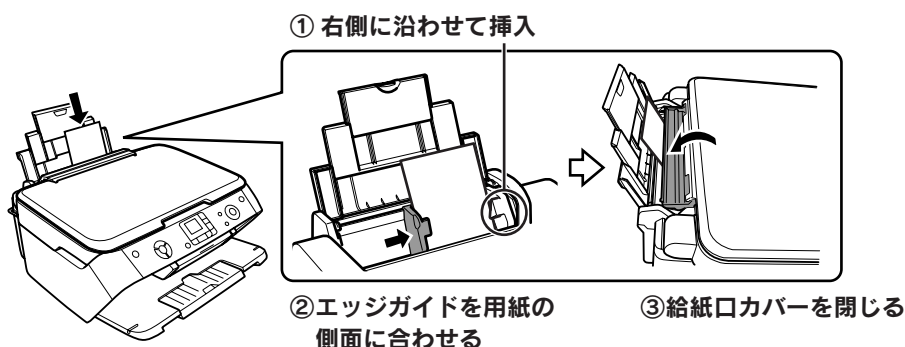
1 用紙サポートを引き出します。

①用紙サポートを開く　②用紙サポートを引き出す　③給紙口カバーを開く

2 排紙トレイを引き出します。

①排紙トレイを手前に開く　②排紙トレイを引き出す

3 印刷面を手前にして用紙を挿入し、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷できません。

① 右側に沿わせて挿入

②エッジガイドを用紙の側面に合わせる　③給紙口カバーを閉じる

以上で、基本的な用紙のセット方法の説明は終了です。

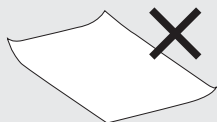
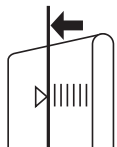
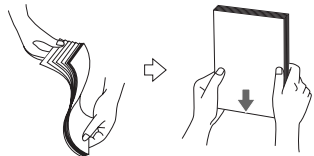
普通紙のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

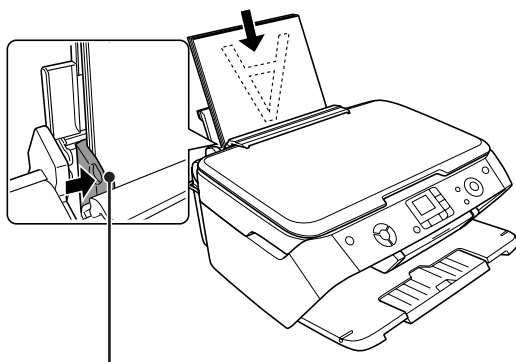
  ・丸まっている用紙
  ・破れている用紙
  ・切れている用紙
  ・穴があいている用紙
  ・折りがある用紙

  ・角がそっている用紙

  ・印刷面が波打っている用紙

- 再生紙は、紙質によってはにじむことがあります。試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。

用紙	セット可能枚数	準備
両面上質普通紙 <再生紙>※	エッジガイドの ▼マークまで	反りを修正して平らにします。 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
市販の普通紙		

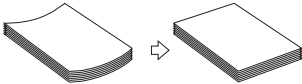
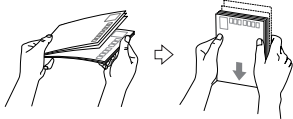
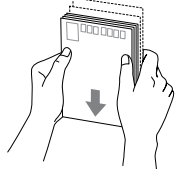
※両面印刷時のセット可能枚数は 30 枚までです。

普通紙のセット時のポイント

セットの向き

印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
天地がある場合は、天を下側にして挿入。

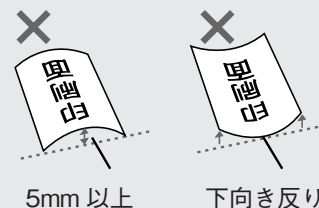
一度にセットできる枚数

エッジガイドに入るまで。
※両面印刷時は 30 枚までです。

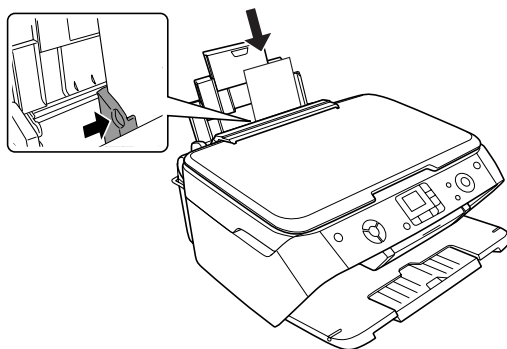
ハガキのセット

ハガキの準備

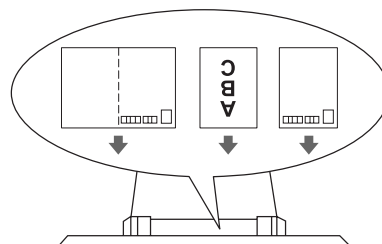
ハガキをセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
- 往復郵便ハガキは、中央に折り目のないものをお使いください。
- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- エプソン製専用ハガキは、必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 右図のように、5mm 以上反っているハガキや、下向きに反っている（両端が浮いている）ハガキは、セットしないでください。印刷面が汚れたり、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。
- 片面に印刷後その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを修正して平らにしてください。先に宛名面から印刷することをお勧めします。

用紙	セット可能枚数	準備
郵便ハガキ 郵便ハガキ （インクジェット紙） 往復郵便ハガキ※1 郵便光沢ハガキ※1 （写真用）	50 枚	反りを修正して平らにします。 ↓ 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
スーパーファイン専用ハガキ※1	50 枚	
写真用紙<絹目調> はがき	20 枚	用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。

※ 1 パソコンからの印刷にのみ対応

ハガキのセット時のポイント

セットの向き

宛先用の郵便番号枠を下側にし、印刷面を手前にして挿入。
通常のハガキは縦方向に挿入。
往復ハガキは折り目を付けずに横方向に挿入。

一度にセットできる枚数

上表の「セット可能枚数」の通り。

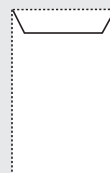
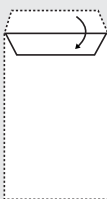
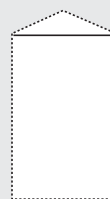
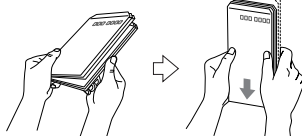
封筒のセット

封筒の準備

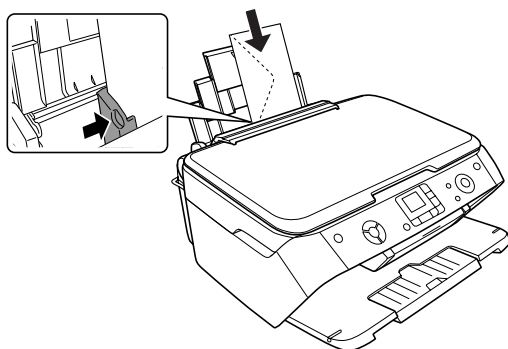
封筒をセットする前に、以下をご確認ください。

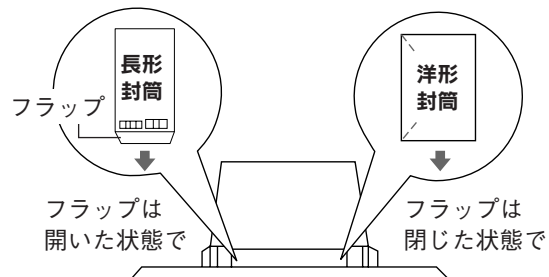
!注意

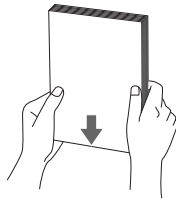
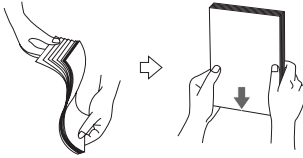
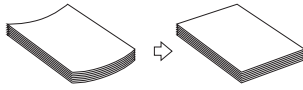
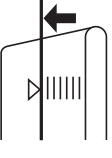
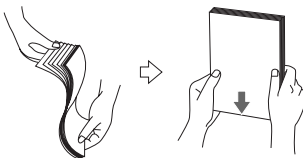
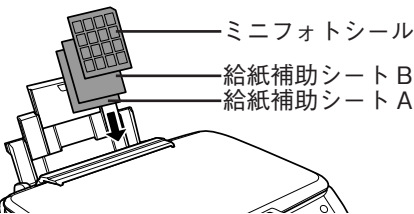
次のような封筒は使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒
- 二重封筒
- すでにフラップが折られている封筒
- フラップの先が円弧形状の封筒
- フラップを一度折り再度広げた封筒
- フラップの先端が三角形状の封筒

用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
長形3号/4号 洋形1号/2号/3号/4号	15枚	宛名面	よくさばき、端を揃えます。ふくらんでいる場合は、ふくらみを取り除いてください。

※ 封筒はパソコンからの印刷にのみ対応

封筒のセット時のポイント

セットの向き

印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
長形封筒はフラップを開いた状態でセット。
洋形封筒はフラップを閉じた状態でセット。

セット可能枚数

15枚まで。

写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 両面マット紙（名刺）の両面に印刷する場合には、端に色やイラストの入っていないデータ（面）から印刷してください。

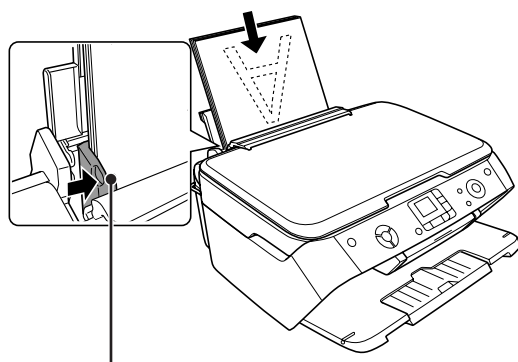
用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
写真用紙クリスピア＜高光沢＞※1	20枚※3	より光沢のある面	用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。
写真用紙＜光沢＞※1	20枚（カードサイズのみ30枚）※3	より光沢のある面	
写真用紙＜絹目調＞※1	20枚※3	より光沢のある面	
フォトマット紙	20枚	より白い面	用紙をよくさばき、端を揃えます。
光沢紙※2	20枚※3	より光沢のある面	反りを修正して平らにします。 ↓ 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
スーパーファイン紙※2	エッジガイドの▼マークまで	より白い面	
アイロンプリントペーパー※2	1枚	白い面（印刷されていない面）	用紙が反っている場合は、反りを修正します。
ミニフォトシール※2	1枚	コーナーカット（切り欠け部）が右上にくる面 印刷面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 パッケージに同梱の給紙補助シート2枚(AとB)を下に敷いて、セットしてください。 ミニフォトシール 給紙補助シートB 給紙補助シートA

※1 一部のサイズについてはパソコンからの印刷、またはオーダーシート印刷にのみ対応
本書13ページ「印刷できる用紙」
※2 パソコンからの印刷にのみ対応
※3 印刷結果がこすれたりムラになったりする場合は、1枚ずつセットしてください。

次ページへ続く

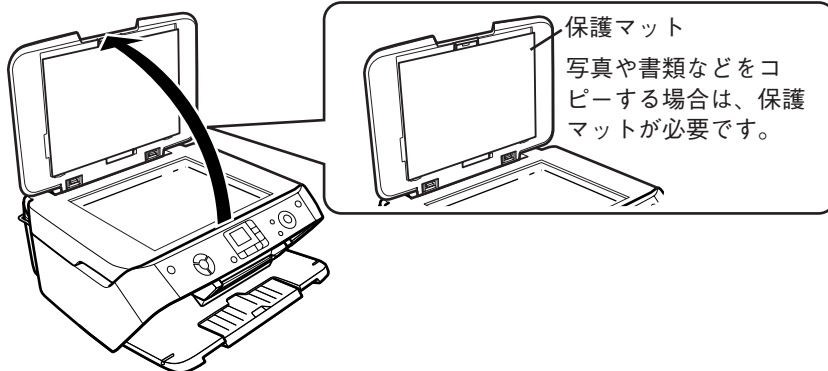
用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
スーパーファイン専用ラベルシート※2	1 枚	EPSON ロゴマークが印刷されていない面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 ラベルシートの台紙を剥がした状態でセットしないでください。また、一度カットしたラベルシートや、台紙から一度剥がして再度貼り付けたラベルシートはセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。
両面マット紙<再生紙>名刺サイズ※2	30 枚	－	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 裏面に印刷するときは、乾かした後に反りを修正してください。

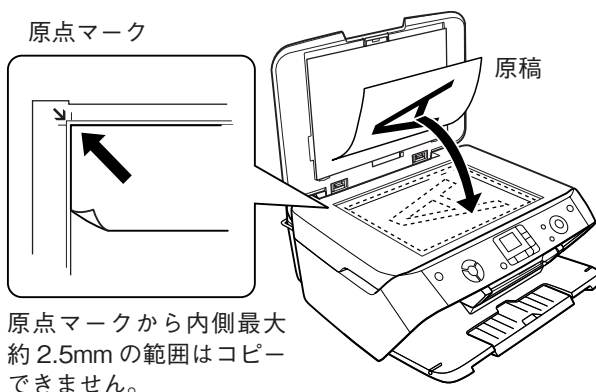
※２ パソコンからの印刷にのみ対応

用紙のセット時のポイント

セットの向き
印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
天地がある場合は、天を下側にして挿入。

一度にセットできる枚数
上表の「セット可能枚数」の通り。

原稿のセット方法

1 原稿カバーを開け、保護マットが付いていることを確認します。

2 原稿を原稿台に置きます。

コピーする面を下に向け、原稿台の原点マーク（↘）に合わせて、図の向きに置いてください。

！注意

原稿は、コピーする面が平らなものを使用してください。コピーする面がゆがんでいると、ゆがんだままコピーされます。

参考

複数枚の写真を同時にコピーする場合は、以下をご覧ください。
☞ 本書 26 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」

3 原稿カバーを閉じます。

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

！注意

- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

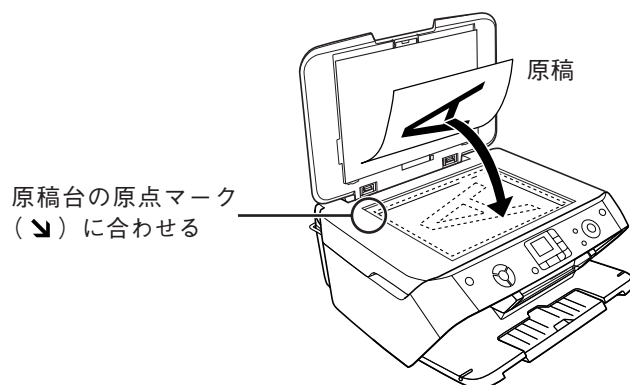
以上で、原稿のセット方法の説明は終了です。

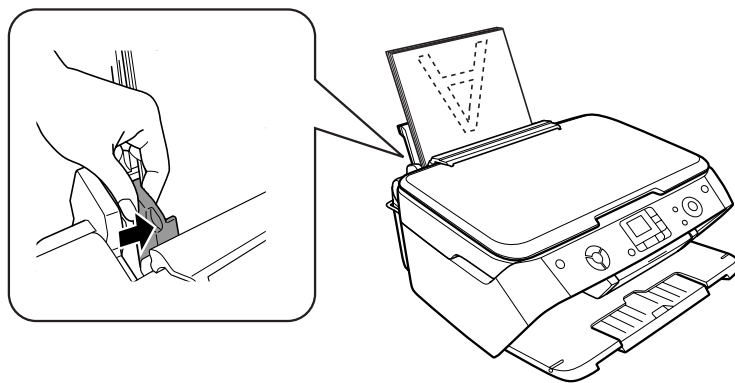
基本的なコピー

1 電源をオンにします。

☞ 本書 10 ページ「操作パネルの基本操作」

2 原稿をセットします。

☞ 本書 21 ページ「原稿のセット方法」

3 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

4 操作パネルの【コピー】ボタンを押して、[等倍]または[自動拡大 / 縮小]を選択します。

【コピー】ボタンを押すたびに[等倍]と[自動拡大 / 縮小]が切り替わります。[自動拡大 / 縮小]は、原稿と印刷用紙のサイズが異なる場合（L 判の原稿をハガキサイズの用紙に印刷したい場合など）にのみ選択します。

参考

[自動拡大 / 縮小]を選択すると、原稿の内容（色）がある範囲をサイズとして認識し、その範囲をコピー用紙のサイズに合わせて拡大 / 縮小してコピーします。そのため、原稿の周囲に白い部分があった場合、白い部分がなくなって拡大コピーされる、または逆に予期せぬ白い部分が生じるなど、正しくコピーできないことがあります。このような場合は、[等倍]でコピーを行ってください。

5 コピー枚数を設定します。モノクロでコピーしたい場合は、[モノクロ]に設定します。

コピー枚数設定の場合

【△】か【▽】ボタンで枚数設定

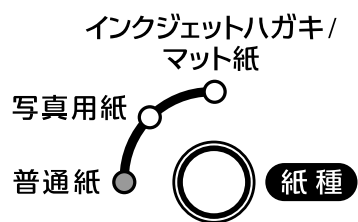
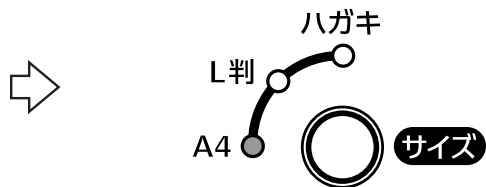
【△】ボタンを押すごとに「2 枚、3 枚、・・・99 枚」と枚数を増やせます。
【▽】ボタンを押すと「99 枚、98 枚・・・」と枚数を減らせます。

モノクロコピー設定の場合

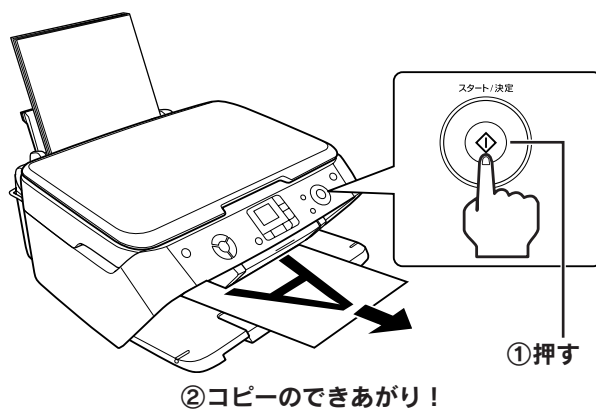
【▷】か【◁】ボタンで[モノクロ]に設定

次ページへ続く

6 セットした印刷用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。

フチあり / フチなしなどの四辺の余白の設定は、コピー倍率の設定、［紙種］、［サイズ］の設定に合わせて自動的に設定されます。（任意の設定に変更することはできません。）
詳しくは下表をご覧ください。

①下表を参照して【紙種】ボタンで設定

②下表を参照して【サイズ】ボタンで設定

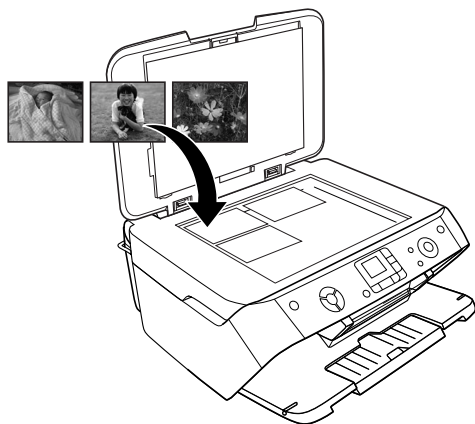
	セットした印刷用紙	操作のパネル設定		四辺の余白
		紙種	サイズ	
等倍	両面上質普通紙 事務用普通紙	普通紙	A4	各辺に 3 mm のフチあり
	郵便ハガキ（再生紙）	普通紙	ハガキ	各辺に 1.5 mm のフチあり
	郵便ハガキ （インクジェット紙）	インクジェットハガキ / マット紙	ハガキ	各辺に 1.5 mm のフチあり
	フォトマット紙	インクジェットハガキ / マット紙	A4	各辺に 1.5 mm のフチあり
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙クリスピア ＜高光沢＞	写真用紙	A4、L 判	各辺に 1.5 mm のフチあり
	写真用紙＜絹目調＞	写真用紙	A4、L 判、 ハガキ	各辺に 1.5 mm のフチあり
自動拡大／縮小	両面上質普通紙 事務用普通紙	普通紙	A4	各辺に 3 mm のフチあり
	郵便ハガキ（再生紙）	普通紙	ハガキ	フチなしコピー
	郵便ハガキ （インクジェット紙）	インクジェットハガキ / マット紙	ハガキ	フチなしコピー
	フォトマット紙	インクジェットハガキ / マット紙	A4	フチなしコピー
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙クリスピア ＜高光沢＞	写真用紙	A4、L 判	フチなしコピー
	写真用紙＜絹目調＞	写真用紙	A4、L 判、 ハガキ	フチなしコピー

7 【スタート / 決定】ボタンを押して、コピーを実行します。

参考

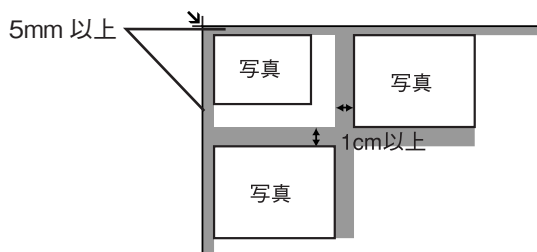
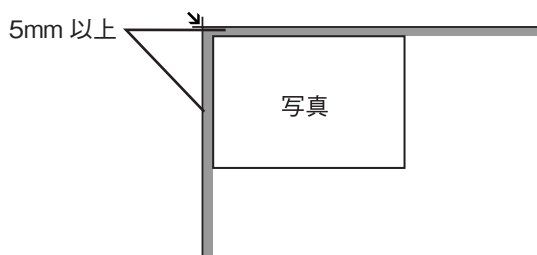
印刷を途中で止めたい場合は、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してください。
印刷が中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

以上で、基本的なコピーの説明は終了です。

写真の焼き増し<写真コピー>

写真の焼き増し / 引き伸ばしが簡単にできます。また、L 判写真などを複数枚同時にセットし、一度にまとめてコピーすることもできます。

1 写真原稿をセットします。

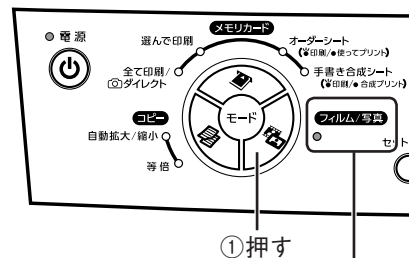
☞ 本書 21 ページ「原稿のセット方法」
原稿は、原点マークから 5mm 以上離して、横置きでセットしてください。

L 判 /E 判サイズの場合、横置きで 3 枚までセットできます。3 枚の写真それぞれの間隔を、下図のように必ず 1cm 以上あけて並べてください。

2L 判サイズの場合は 1 枚だけセットできます。

参考

- コピーできる写真のサイズは、最小で 30 × 40mm、最大で 127 × 178mm（2L 判）までです。
- 余白（フチ）のある写真や、周囲に白い部分のある写真の場合は、原稿を認識しないことがあります。

2 印刷用紙（写真用紙）をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 【フィルム / 写真】ボタンを押してフィルム / 写真モードにします。

4 メニューから［写真原稿］、または［写真原稿（退色復元する)］を選択します。

【▷】か【◁】ボタンで選択

参考

［写真原稿（退色復元する)］を選択すると、色あせたり変色した写真を、色鮮やかに甦らせることができます。

5 【スタート / 決定】ボタンを押して、写真をスキャンします。

6 写真ごとに焼き増し枚数を設定します。

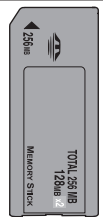
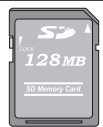
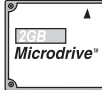
①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【▽】か【△】ボタンで枚数設定

7 **セットした用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。**

☞ 本書 24 ページ「基本的なコピー」手順6

参考

フチなしでのコピーや印刷の際には、原稿を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、焼き増しした写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、フチなしはみ出し量を［少ない］に設定してください。

☞ 本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」

8 **【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、写真の焼き増しの手順説明は終了です。

メモリカードについて

使用できるメモリカードの種類

本製品で使用できるメモリカードは以下の通りです。

スマートメディア	• xD-Picture Card™ • xD-Picture Card™ Type M
• メモリースティック • メモリースティック PRO • マジックゲートメモリースティック	• メモリースティック Duo • メモリースティック PRO Duo • マジックゲートメモリースティック Duo ※専用のアダプタが必要です。
• SD メモリーカード • マルチメディアカード	miniSD カード ※専用のアダプタが必要です。
コンパクトフラッシュ	マイクロドライブ

参考

- 上記は 2005 年 7 月現在の情報です。最新情報については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。
- メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティック Duo の著作権保護機能には対応していません。
- メモリースティック PRO Duo の高速転送機能には対応していません。

印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。

デジタルカメラ	DCF※1 Version 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF※1 Version 1.0 または 2.0 準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG※2 形式、TIFF※2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 ～ 9200 ピクセル、縦 80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

※ 1 DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。

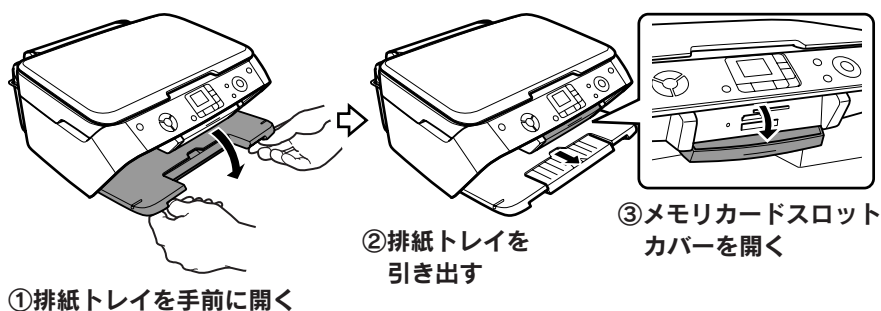
※ 2 Exif Version2.21 準拠。

メモリカードのセット方法

1 電源をオンにします。

本書 10 ページ「操作パネルの基本操作」

2 排紙トレイを開き、メモリカードスロットカバーを開きます。

メモリカードスロットカバーは止まるところまでしっかりと引き下げてください。

3 メモリカードを一枚だけ挿入します。

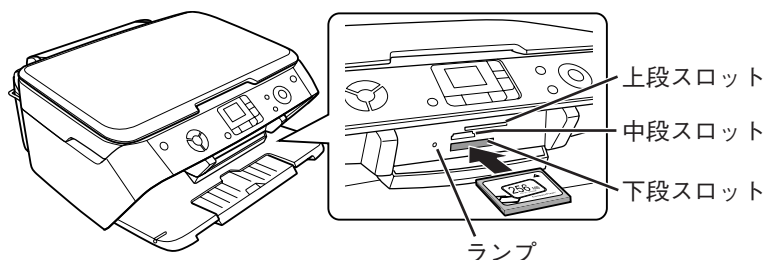
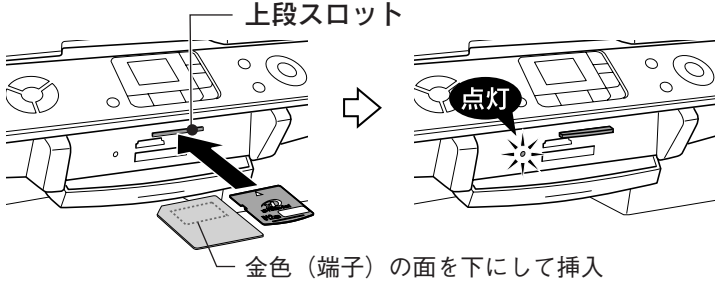
メモリカードの種類によって挿入するスロットが異なります。お使いのメモリカードとスロットの位置を確認してください。メモリカードが正常に挿入されるとメモリカードスロットランプが点灯します。

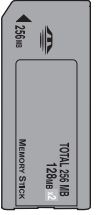
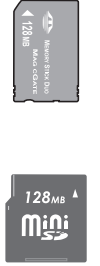
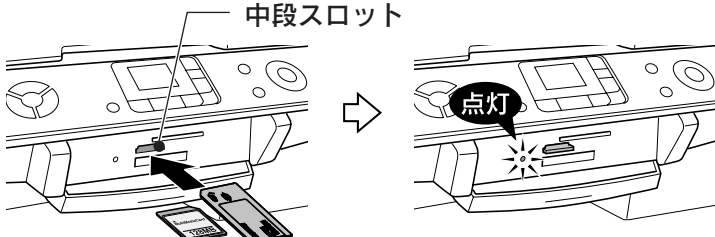
本書 28 ページ「メモリカードについて」
本書 30 ページ「メモリカードの種類とセット位置」

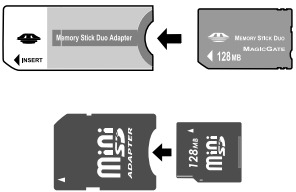
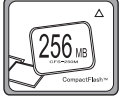
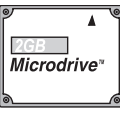
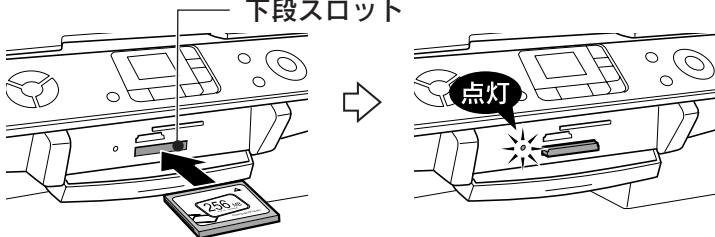
!注意

ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

参考

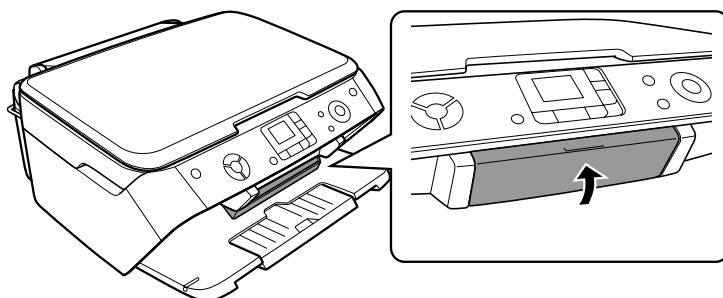
複数のメモリカードを一度にセットしないでください。複数のメモリカードを同時にセットすると、目的のメモリカード（印刷したいデータが保存されているメモリカード）が認識されない場合があります。

メモリカードの種類とセット位置

- スマートメディア

- xD-Picture Card ™
- xD-Picture Card ™ Type M

- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- マジックゲート
  メモリースティック

- SD メモリーカード
- マルチメディア
  カード

- メモリースティック Duo ※
- メモリースティック
  PRO Duo ※
- マジックゲート
  メモリースティック Duo ※
- miniSD カード※

※ 専用アダプタにカードを差し込んでから、本製品のスロットに差し込んでください。

- コンパクトフラッシュ

- マイクロドライブ

4 メモリカードスロットカバーを閉じます。

カバーを閉じないと、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤作動する場合があります。

以上で、メモリカードのセットの手順説明は終了です。

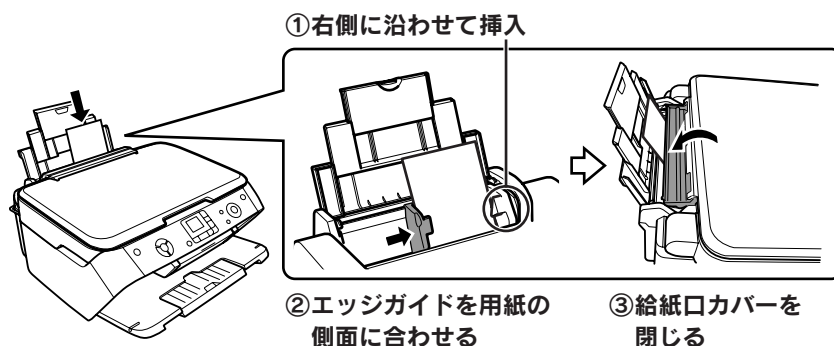
写真プリントの基本手順

写真を選んで印刷

1 メモリカードの種類と挿入位置を確認して、メモリカードをセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードについて」
☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 操作パネルの【メモリカード】ボタンを何回か押して、［選んで印刷］を選択します。

①押す　②［選んで印刷］のランプが点灯したことを確認する

4 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

写真を 1 つだけ選択する場合は、①と②の手順のみになります。
複数の写真を選択する場合は、①～④の手順を繰り返してください。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】か【▽】ボタンで枚数設定

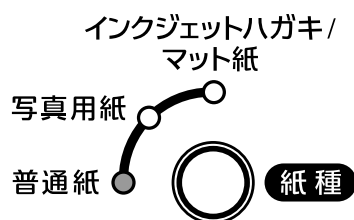
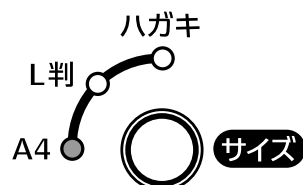
③【▷】か【◁】ボタンで次の写真を表示
④【△】か【▽】ボタンで枚数設定

参考

写真に P.I.F. のレイアウトが関連付けされている場合には、画面上に P.I.F. アイコンが表示され、各写真に関連付けされた P.I.F. スクリプト（レイアウト）に従って印刷されます。

次ページへ続く

5 セットした用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。

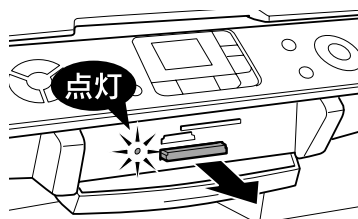
フチあり / フチなしなどの四辺の余白の設定は、［紙種］、［サイズ］の設定に合わせて自動的に設定されます。（任意の設定に変更することはできません。）
詳しくは下表をご覧ください。

①下表を参照して【紙種】ボタンで設定

②下表を参照して【サイズ】ボタンで設定

セットした印刷用紙	操作のパネル設定	
	紙種	サイズ
両面上質普通紙 / 事務用普通紙	普通紙※	A4
郵便ハガキ（再生紙）	普通紙	ハガキ
郵便ハガキ（インクジェット紙）	インクジェットハガキ、マット紙	ハガキ
フォトマット紙	インクジェットハガキ、マット紙	A4
写真用紙＜光沢＞ 写真用紙クリスピア＜高光沢＞	写真用紙	A4、L 判
写真用紙＜絹目調＞	写真用紙	A4、L 判、ハガキ

※ 紙種［普通紙］、サイズ［A4］の設定の場合、各辺に 3 mm のフチありで印刷されます。その他の設定ではフチなしで印刷されます。（任意の設定に変更することはできません。）

6 【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。

7 印刷が終了したら、メモリカードを取り出します。

ランプが点灯していることを確認して、取り出します。

！注意

ランプが点滅しているときは、取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

写真に日付を入れて印刷したい場合は、オーダーシートを使って印刷してください。
☞ 本書 34 ページ 「マークシート方式で簡単印刷＜オーダーシート印刷＞」

以上で、メモリカードから写真プリントの基本手順の説明は終了です。

写真プリントの応用手順

すべての写真を印刷

メモリカード内のすべての写真を、一括して印刷します。

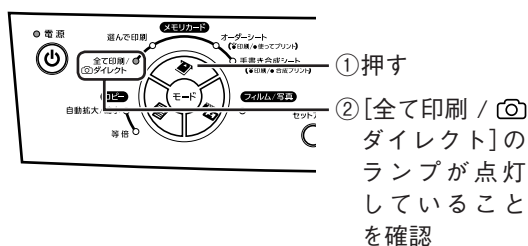
1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 28 ページ「メモリカードについて」
☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを何回か押して、［全て印刷 / 📷 ダイレクト］を選択します。**

参考

メモリカード内に DPOF 情報がある場合には、［全て印刷］で印刷を実行することはできません。（［全て印刷 / 📷 ダイレクト］を選択しても、DPOF モードの画面が表示されます。）
［全て印刷］で印刷を実行したい場合には、お使いのデジタルカメラでメモリカード内の DPOF 情報を削除してください。

4 **印刷部数を設定します。**

5 **セットした用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。**

☞ 本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順5

6 **【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、すべての写真を印刷する手順説明は終了です。

マークシート方式で簡単印刷 <オーダーシート印刷>

操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。

PM-A750 オーダーシート　EPSON

1
- 写真用紙・L判
- 写真用紙・2L判
- 写真用紙・カードサイズ
- 写真用紙ハガキ・ハガキ全面
- 写真用紙・A4
- フォトマット紙・A4
- フチなし
- フチあり
- 日付を入れる

2
- ALL このシート内の全ての画像を1枚ずつ印刷

3
このシートを原稿台にセットし、操作パネルで［オーダーシート（●使ってプリント）］を選択して、【スタート/決定】ボタンを押すと写真がプリントされます。

①オーダーシートを印刷

1　メモリカードをセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードについて」
☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2　印刷用紙（A4 普通紙）をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

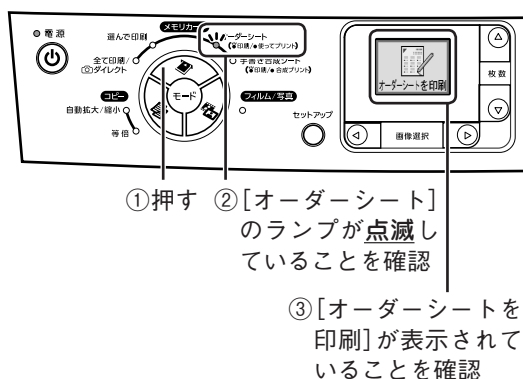
3　【メモリカード】ボタンを何回か押して、［オーダーシートを印刷］を選択します。

①押す　②［オーダーシート］のランプが点滅していることを確認

③［オーダーシートを印刷］が表示されていることを確認

4　【スタート / 決定】ボタンを押して、オーダーシートを印刷します。

※オーダーシート 1 枚の用紙には最大 30 枚の写真が印刷されます。

> **参考**
> オーダーシートを印刷した後は、写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

②オーダーシートに記入して写真プリント

1 印刷用紙と印刷したい写真を選択して、オーダーシートにマークを付けます。

マークは、HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンを使用し、しっかりと塗りつぶしてください。

正しい記入例 ●

悪い記入例

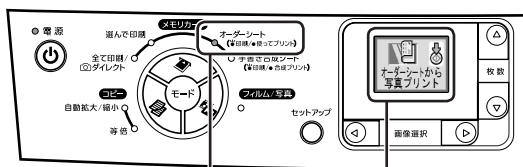
①用紙を 1 種類選択
[フチなし]/[フチあり]の選択、および[日付を入れる]を指定することもできます。

②写真を選択（複数可）
各写真の印刷枚数は 3 枚まで設定できます。すべての写真を 1 枚ずつ印刷する場合は、[ALL]にマークを付けてください。

2 印刷用紙をセットします。

手順1で選択した用紙をセットします。

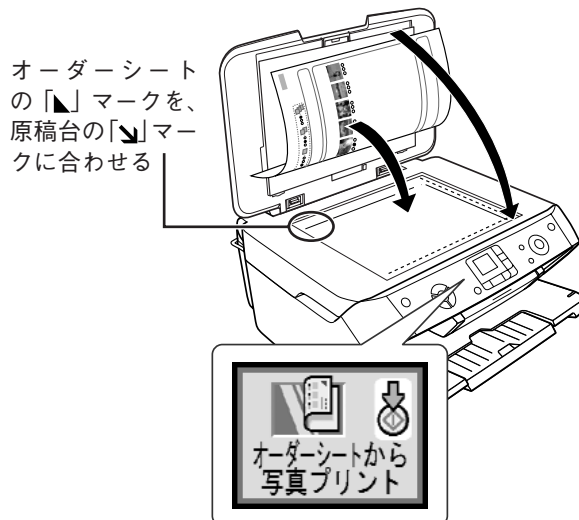
☞本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 ［オーダーシートから写真プリント］が選択されていることを確認します。

①[オーダーシート]のランプが点灯していることを確認　②[オーダーシートから写真プリント]が表示されていることを確認

参考

上図のような設定になっていない場合には、【メモリカード】ボタンを何回か押して、設定し直してください。

4 オーダーシートを原稿台にセットします。

図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

5 【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、オーダーシート印刷の手順説明は終了です。

デジタルカメラで指定した写真を印刷く DPOF 印刷＞

デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「枚数」を設定することができます。指定した写真を印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

参考

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

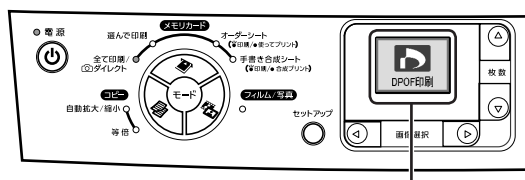
1 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙をセットします。

☞本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 液晶ディスプレイに DPOF のロゴマークが表示されていることを確認します。

もし、DPOF のロゴマークが表示されていない場合には、【メモリカード】ボタンを何回か押して、設定し直してください。

DPOF のロゴが表示されていることを確認

4 セットした用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。

☞ 本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順5

参考

DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。

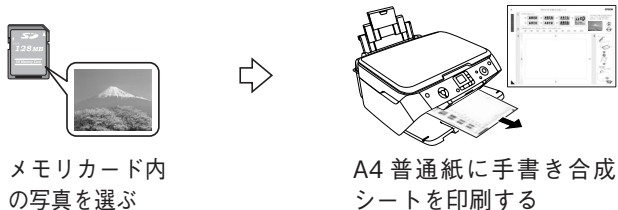
5 【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。

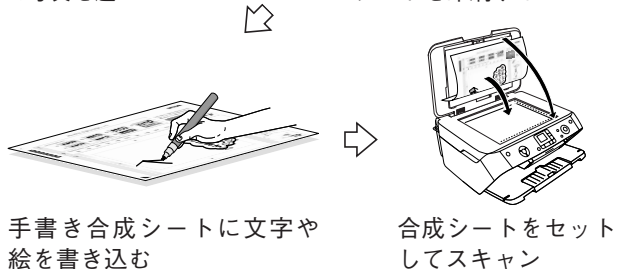
DPOF 情報と印刷設定に従って印刷されます。

- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20 面 /80 面など）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常印刷の両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

以上で、DPOF 印刷の手順説明は終了です。

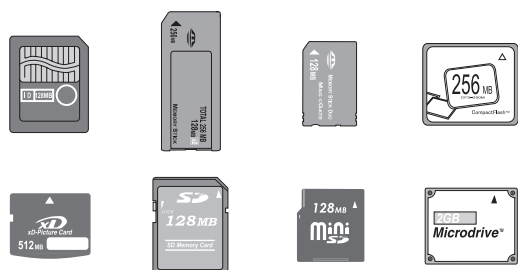
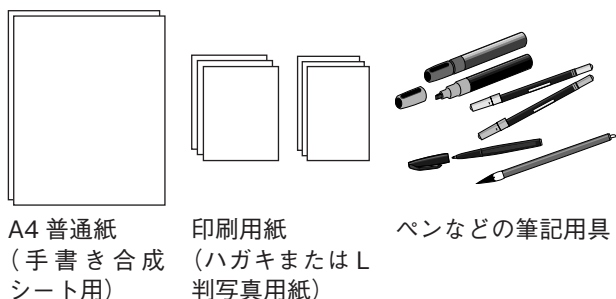
手書きの文字やイラストを合成して印刷

メモリカード内の写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

メモリカード内の写真を選ぶ

A4 普通紙に手書き合成シートを印刷する

手書き合成シートに文字や絵を書き込む

合成シートをセットしてスキャン

楽しい合成写真プリントのできあがり！

用意するもの

合成したい写真の入ったメモリカード（いずれか一枚）

A4 普通紙（手書き合成シート用）

印刷用紙（ハガキまたは L 判写真用紙）

ペンなどの筆記用具

①手書き合成シートの印刷

1 **メモリカードをセットします。**

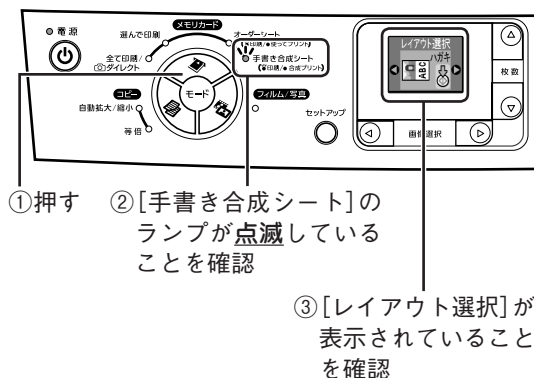
本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **A4 サイズの普通紙（手書き合成シート印刷用）をセットします。**

本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

参考

手書き合成シートに使用する用紙は、両面に汚れ（異物）のないことを確認してください。合成時に用紙の汚れ（異物）が手書きデータとして認識される場合があります。

3 **【メモリカード】ボタンを何回か押して、［レイアウト選択］を選択します。**

①押す　②［手書き合成シート］のランプが点滅していることを確認

③［レイアウト選択］が表示されていることを確認

4 **合成写真プリントに使う用紙とレイアウトの組み合わせを選択します。**

下図の例では、「ハガキ」の「上半分」に写真がレイアウトされます。

①【▷】か【◁】ボタンで選択※
②【スタート / 決定】ボタンで決定

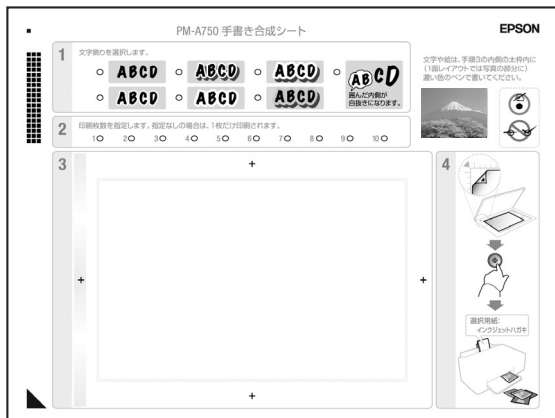
※ 用紙種類はハガキと L 判の 2 種類、レイアウトは次の 3 種類があります。

	用紙の下半分に写真がレイアウトされます。手書きの文字や絵は、白い部分だけでなく写真の上にも重ねて印刷できます。
	用紙の上半分に写真がレイアウトされます。手書きの文字や絵は、白い部分だけでなく、写真の上にも重ねて印刷できます。
	写真が全面にレイアウトされ、手書きの文字や絵はその上に重ねて印刷されます。

次ページへ続く

5 **合成する写真を１つだけ選択します。**

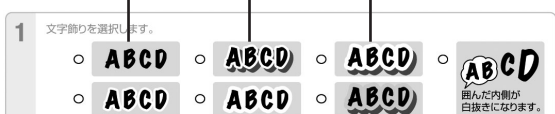
【▷】か【◁】ボタンで写真表示

6 **【スタート / 決定】ボタンを押して、手書き合成シートを印刷します。**

参考

手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

②手書き合成シートに記入

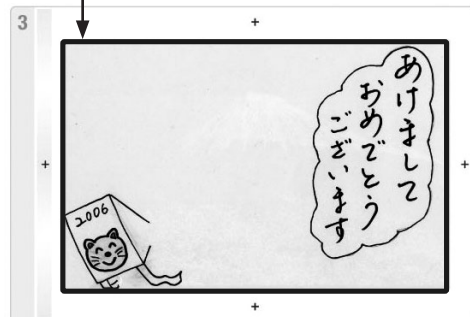
1 **印刷された「手書き合成シート」上の手順1で、手書きの文字飾りを１つだけ選択します（マークを付けます）。**

ＨＢなどの濃い鉛筆か濃い色のペンで、〇をしっかりと塗りつぶしてください。

2 **「手書き合成シート」上の手順2で、印刷枚数を指定します（マークを付けます）。**

ＨＢなどの濃い鉛筆か濃い色のペンで、〇をしっかりと塗りつぶしてください。

3 **「手書き合成シート」上の手順3の手書きエリアに、文字や絵などを書きます。**

手書きエリア

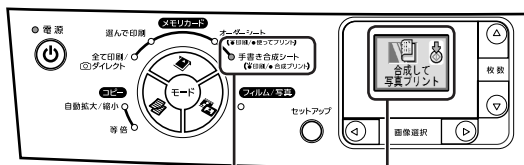
太線の内側に、文字や絵を手書きしてください。

参考

- 文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使って、濃くはっきりと書いてください。ボールペンやシャープペンシルなどによる細い文字、クレヨン色鉛筆などによるかすれた文字は、正常に合成されない場合があります。
- 手書きエリアより一回り大きなエリア全体が、設定した用紙サイズ（L 判 / ハガキ）に合わせて自動的に拡大 / 縮小され、印刷されます。
- 手書きエリアの外側に書かれた文字や絵は、印刷されません。

③合成シートをスキャンして合成写真プリント

1 **設定した印刷用紙をセットします。**

「手書き合成シート」上の手順4に、設定した印刷用紙が記載されています。

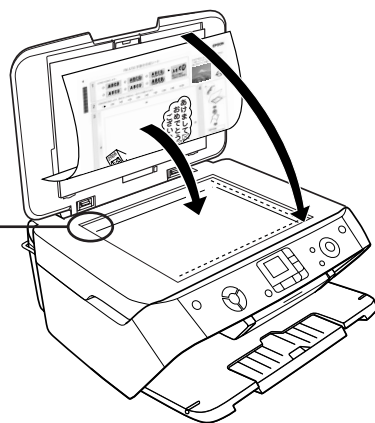
2 **[合成して写真プリント]が選択されていることを確認します。**

①[手書き合成シート]のランプが**点灯**していることを確認

②[合成して写真プリント]が表示されていることを確認

参考

上図のような設定になっていない場合には、【メモリカード】ボタンを何回か押して、設定し直してください。

3 **手書き合成シートを原稿台にセットします。**

図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

4 **【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。**

合成結果が印刷されます。

以上で、手書き合成シート印刷の手順説明は終了です。

こんなときは

- **手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない。(思ったより内側に入ってしまう)**

手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアに書いた内容は、写真のフチよりも内側に印刷されます。
機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

- **文字や絵がかすれて、きれいに印刷されない。**

手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書き合成シートに印刷されている文字や線と同じような色（薄い水色）のペンを使用すると、正しく認識されません。文字や絵がかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

- **絵の一部が欠けてしまう。**

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、線が途切れたり離れたりしている絵には不向きです。絵を合成する場合は、絵を囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、絵全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

破線部分が切り抜かれます。

次ページへ続く

- **文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。**

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。
下図（A）のように絵の中（顔の部分）を濃い色のペンで塗り潰して、文字飾りを「ふち取り」に設定するか、下図（B）のように文字全体を線で囲い、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定してお試しください。

（A）

（B）

- **用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。**

修正液（修正シール）などで汚れを消して、もう一度印刷してみてください。

- **手書きの内容が等倍（100%）で印刷されない。**

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されますので、等倍にはなりません。

- **手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。**

手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

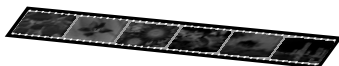
- **手書きした文字がにじんでしまう。**

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

フィルムについて

使用できるフィルムの種類

本製品で使用できるフィルムは以下の通りです。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）

一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で切ったフィルム（スリーブフィルム）

<フィルムタイプ>

■ **カラーネガフィルム**
カラー画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

■ **モノクロネガフィルム**
モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

■ **カラーポジフィルム**
カラー画像がそのまま再現されているフィルム

35mm マウント（スライド）フィルム

スライド用に、カラーポジフィルムを 1 枚ずつ切って、プラスチックなどの枠に挟んだフィルム。厚さ 2 ｍｍ以内のものが使用できます。

<フィルムタイプ>

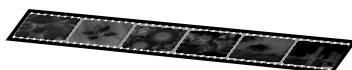
■ **カラーポジフィルム**
カラー画像がそのまま再現されているフィルム
（カラースライド用のフィルム）

フィルムのセット方法

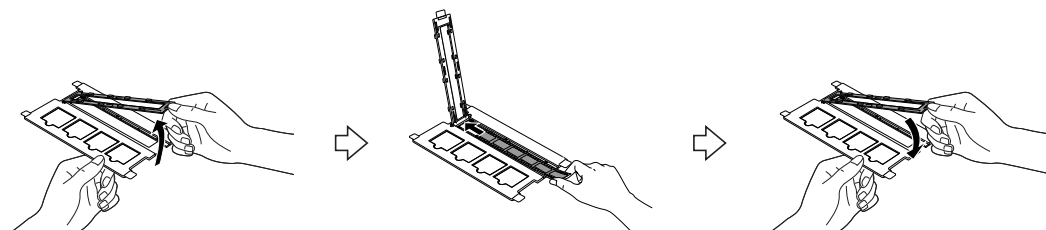
フィルムのセット方法

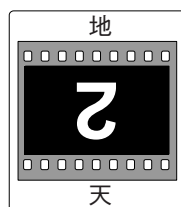
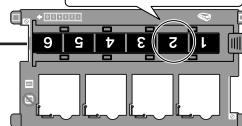
!注意

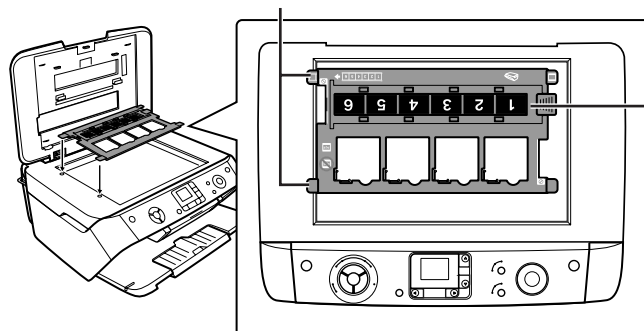
- ストリップフィルムとマウントフィルムとでは、セット方法が異なります。2種類のフィルムを同時にセットしないでください。
- フィルムは正しい向きにセットしてください。画像を取り込んだ後に反転することはできません。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）

1 ストリップフィルムをフィルムホルダにセットします。

フィルムホルダは、原稿カバー内に収納できます。フィルムホルダが収納されている場合は取り出して、保護マットは外したままにしておいてください。

☞ 本書 46 ページ「フィルムホルダの収納」

①カバーを開く　②フィルムをセット　③カバーを閉じる

フィルムの向き（表裏※と天地）を図のようにしてセットする
※ フィルム名やコマ番号が正しく読める面が表です。

6コマ未満のフィルムの場合は、こちら側（左側）に詰めてセットする

2 フィルムホルダを原稿台に置きます。

タブの裏側の丸い部分を、原稿台の穴にはめ込む

セットしたフィルム側が奥になるように置く

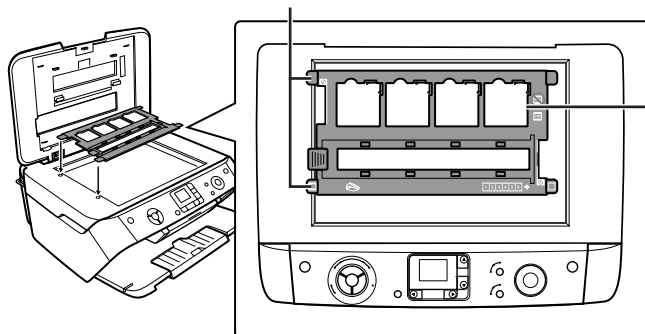
以上で、ストリップフィルムのセット方法の説明は終了です。

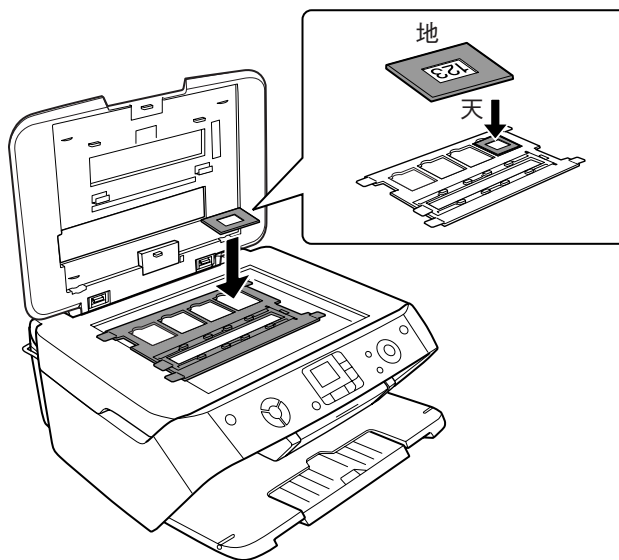
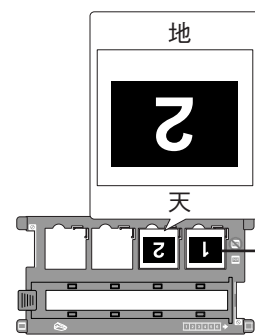
35mm マウント（スライド）フィルム

1 フィルムホルダを原稿台に置きます。

フィルムホルダは、原稿カバー内に収納できます。フィルムホルダが収納されている場合は取り出して、保護マットは外したままにしておいてください。

本書 46 ページ「フィルムホルダの収納」

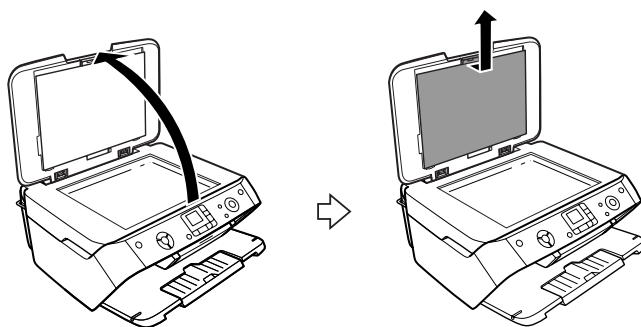
タブの裏側の丸い部分を、原稿台の穴にはめ込む

マウントフィルム側（4 つの枠に仕切られている側）が奥になるように置く

2 マウントフィルムを 1 枚ずつ、フィルムホルダにセットします。

フィルムの向き（表裏と天地）を図のようにしてセットする

こちら側（右側）から順に詰めてセットする

以上で、マウントフィルムのセット方法の説明は終了です。

写真プリントの基本手順

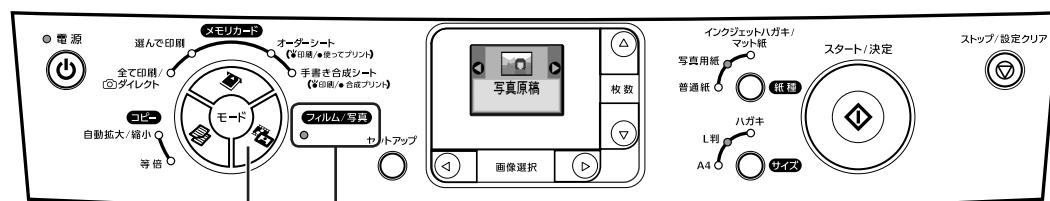
写真を選んで印刷

1 原稿カバーを開けて、保護マットを取り外します。

2 原稿台にフィルムをセットして、原稿カバーを閉じます。

☞ 本書 42 ページ「フィルムのセット方法」

3 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

4 【フィルム / 写真】ボタンを押してフィルム / 写真モードにします。

5 セットしたフィルムのタイプを選択します。

色あせたり変色した古い写真フィルムを印刷する場合は、フィルムタイプの下に［退色復元する］と表示されている画面を選択してください。

【▷】か【◁】ボタンで項目選択

6 【スタート / 決定】ボタンを押して、スキャンを実行します。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

7 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

①【▷】か【◁】ボタンで写真を選択
②【▽】か【△】ボタンで印刷枚数を選択

8 セットした用紙に合わせて［紙種］と［サイズ］を設定します。

☞ 本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順5

①【紙種】ボタンで用紙の種類を設定
②【サイズ】ボタンで用紙サイズを設定

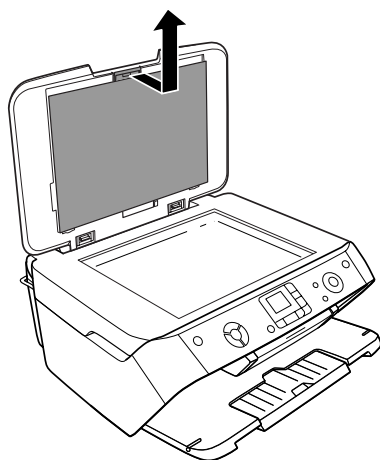
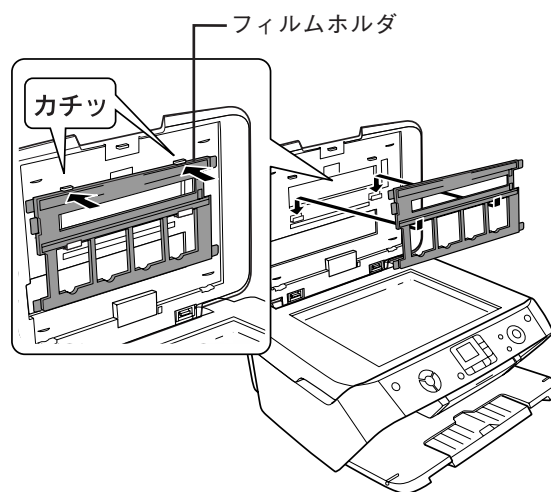
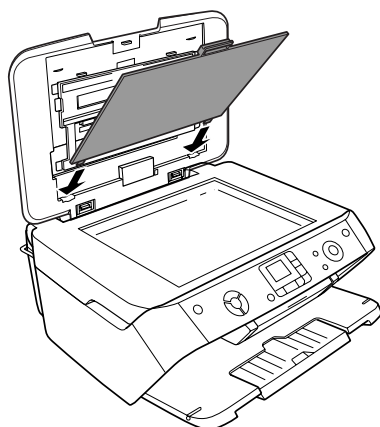
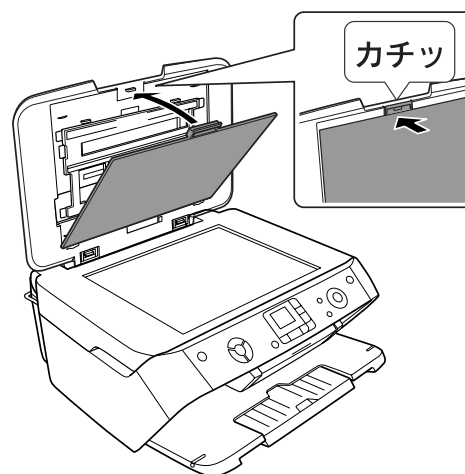
9 【スタート / 決定】ボタンを押して、印刷を実行します。

10 印刷が終了したら、フィルムホルダからフィルムを取り外します。

印刷終了後も、続けてスキャンができるように、原稿カバー裏のランプが点灯していることがあります。

以上で、フィルムから写真プリントの基本手順の説明は終了です。

フィルムホルダの収納

フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバーの内側に収納しておくことができます。

保護マットを取り付けてある場合は取り外す

フィルムなどのイラストが**描かれていない面を手前**にして取り付けます

保護マットを原稿カバーの溝にはめ込む

上側の持ち手の部分を「カチッ」とロックする

デジタルカメラから直接印刷 < USB 接続>

参考

- 「USB DIRECT-PRINT」、または「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷することができます。本製品と接続可能なデジタルカメラについては、エプソンのホームページでご案内しています。(http://www.i-love-epson.co.jp)
- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、[標準設定※] などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません）。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。

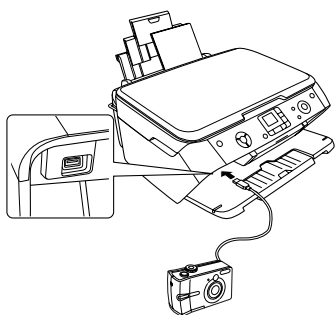
※ 本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

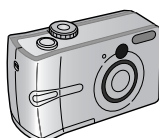
1 本製品の電源をオンにし、印刷用紙をセットします。

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 必要に応じて［紙種］と［サイズ］を設定します。

☞ 本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順 5

3 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

4 デジタルカメラで各種設定をします。

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

5 デジタルカメラから印刷を実行します。

以上で、デジタルカメラから直接印刷する手順説明は終了です。

パソコンから印刷する方法

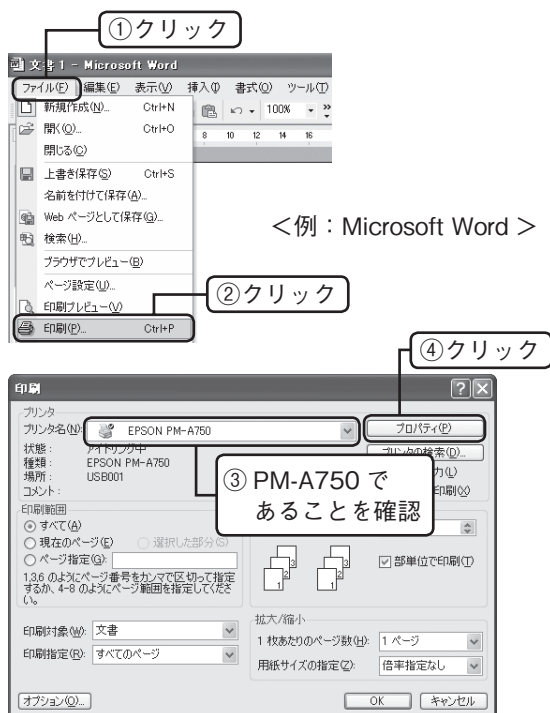
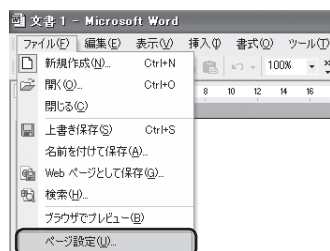
文書の印刷

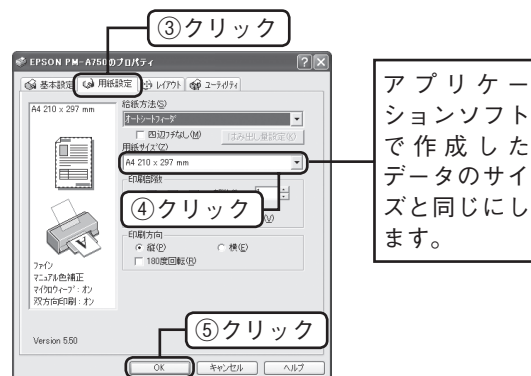
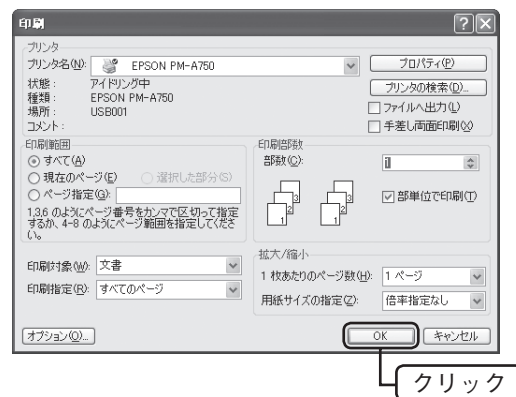
Windows の場合

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを開きます。**

☞『PM-A750 活用ガイド』（電子マニュアル）
－「プリンタドライバの画面を表示するには」

> **参考**
>
> アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

3 **プリンタドライバで印刷の設定をします。**

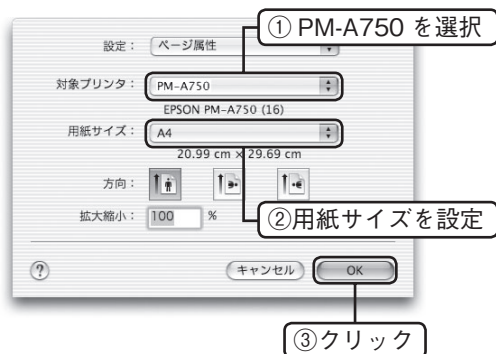
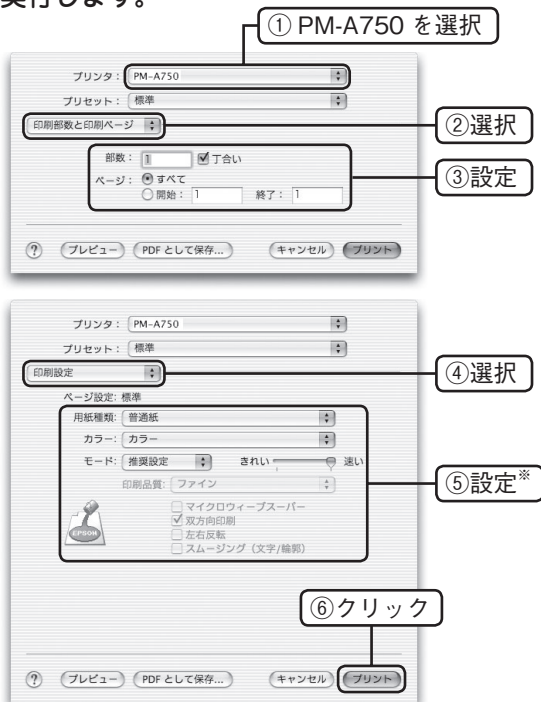
※［用紙種類］の設定については、次ページの表をご覧ください。

4 **印刷を実行します。**

以上で、Windows での印刷の手順説明は終了です。

Mac OS X の場合

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。**

☞『PM-A750 活用ガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

3 **［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を実行します。**

※［用紙種類］の設定については、右の表をご覧ください。

以上で、Mac OS X での印刷の手順説明は終了です。

用紙種類の設定について

印刷時には、セットした用紙に合わせてプリンタドライバの［用紙種類］を設定してください。

	セットした印刷用紙	［用紙種類］の設定
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON 写真用紙クリスピア
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	EPSON 写真用紙
光沢紙	光沢紙	EPSON 光沢紙
マット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
	両面マット紙＜再生紙＞名刺サイズ	EPSON 両面マット紙＜再生紙＞
	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞ コピー用紙 / 事務用普通紙	普通紙
ハガキ	郵便ハガキ（再生紙）※ 往復郵便ハガキ※	宛名面：普通紙 通信面：普通紙
	郵便ハガキ（インクジェット紙）※	宛名面：普通紙 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
	郵便光沢ハガキ（写真用）※	宛名面：普通紙 通信面：郵便光沢ハガキ
	写真用紙＜絹目調＞はがき	宛名面：普通紙 通信面：EPSON 写真用紙
	スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：普通紙 通信面：EPSON スーパーファイン紙
バラエティ用紙	ミニフォトシール	EPSON フォトシール
	アイロンプリントペーパー	EPSON アイロンプリントペーパー
	スーパーファイン専用ラベルシート	EPSON スーパーファイン紙
封筒	封筒	封筒

※ 日本郵政公社製

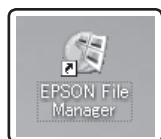
写真プリント

写真の印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』（エプソン イージー フォト プリント）におまかせ。フチなし印刷はもちろん、複数写真の割り付けや、写真フレームの合成など、簡単な操作でさまざまな印刷ができます。

1 印刷用紙をセットします。

本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 パソコンで、『EPSON File Manager』（エプソン ファイル マネージャー）を起動します。

デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックしてください。

参考

デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。

- Windows の場合
  ［スタート］－［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［EPSON Creativity Suite］－［File Manager］－［EPSON File Manager］の順にクリックします。
- Mac OS X の場合
  ［ハードディスク］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［EPSON］フォルダー［Creativity Suite］フォルダー［File Manager］フォルダー［EPSON File Manager］アイコンの順にダブルクリックします。

3 印刷する写真を選択します。

4 『EPSON Easy Photo Print』を起動します。

［かんたん写真プリント］をクリックしてください。

5 用紙設定やレイアウト調整をし、印刷を実行します。

［印刷］をクリックすると、印刷が始まります。

参考

ソフトウェアの詳しい使い方は、『活用ガイド』（電子マニュアル）、およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

以上で、写真プリントの手順説明は終了です。

パソコンからスキャンする方法

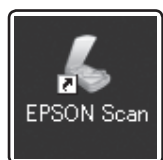
全自動モードで簡単スキャン

1 **原稿をセットします。**

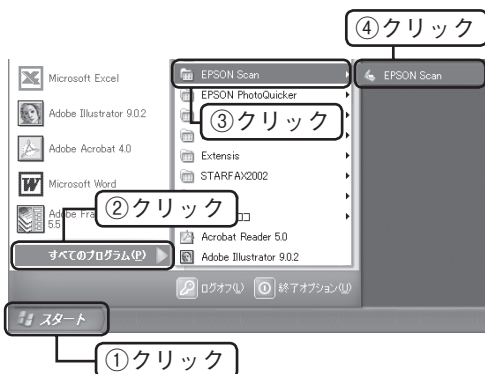
☞ 本書 21 ページ「原稿のセット方法」

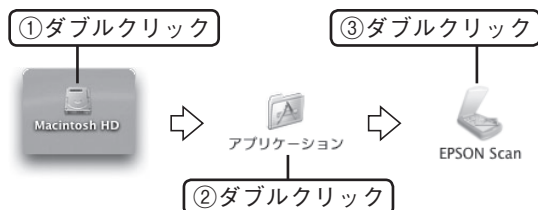
2 **EPSON Scan（エプソン スキャン）を起動します。**

Windows の場合

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックします。

参考

［EPSON Scan］アイコンがない場合は、①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON Scan］－④［EPSON Scan］の順にクリックします。

①クリック　②クリック　③クリック　④クリック

Mac OS X の場合

①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダー③［EPSON Scan］の順にダブルクリックします。

3 **以下の画面が表示されますので、［スキャン］をクリックします。**

4 **必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して［OK］をクリックします。**

［OK］をクリックすると、スキャンが始まり、指定した場所にファイルとして保存されます。

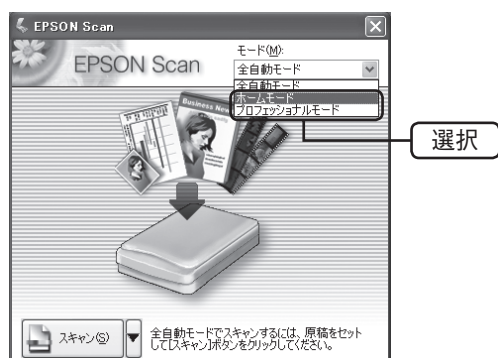
［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしておくと、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

以上で、スキャンの手順説明は終了です。

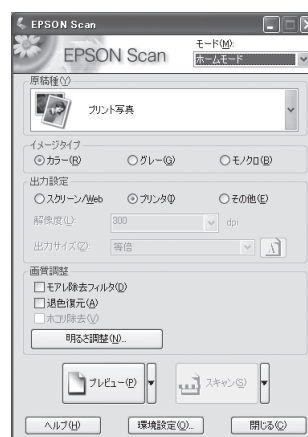
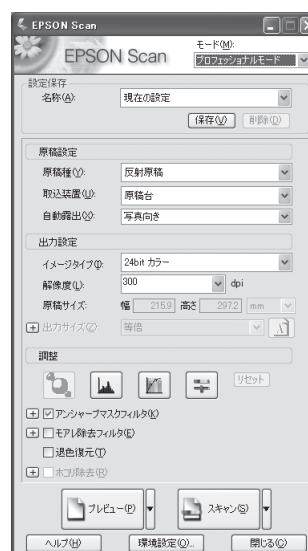
スキャンモードの切り替え方法

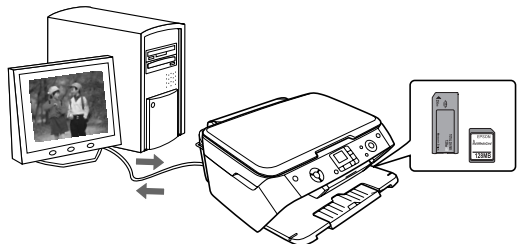
簡単スキャン（全自動モード）で思い通りにスキャンできない場合は、EPSON Scan のホームモードやプロフェッショナルモードに切り替えて、詳細設定をしてお試しください。

1　EPSON Scan が起動して下の画面が表示されたら、画面右上の［モード］で［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］を選択します。

設定の詳細は、『PM-A750 活用ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

参考

次回起動時には、ここで設定したモードで起動します。

ホームモード

プロフェッショナルモード

メモリカードドライブとしての使い方

本製品のメモリカードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、メモリカードドライブとして、ファイル（画像データなど）を取り込んだり(コピーしたり)、書き込んだり（保存したり）することができます。

1　電源をオンにして、メモリカードをセットします。

☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」

2　パソコンのメモリカードドライブを開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

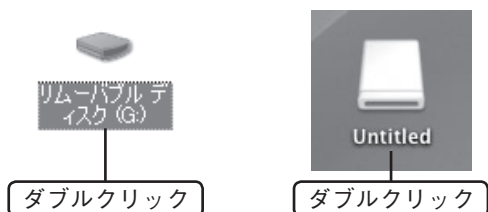
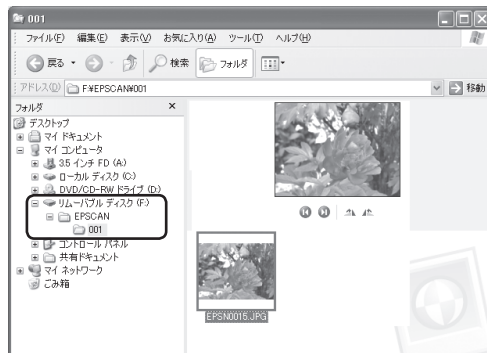
- **Windows 98/Me/2000 の場合**

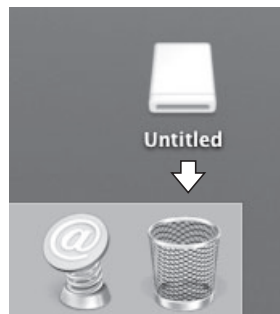
  デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

- **Mac OS X の場合**

  デスクトップ上のメモリカードドライブのアイコンをダブルクリックします。

参考

ドライブ名（アイコン名）は、ボリュームラベルが設定されている場合は、そのボリュームラベルが表示されます。

3　データをコピーしたり、保存したりします。

4　メモリカードドライブを閉じます。

5　Mac OS X の場合は、メモリカードドライブのアイコンを、ゴミ箱に捨てます。（ドラッグアンドドロップします。）

6　メモリカードスロットのランプが点滅していないことを確認し、メモリカードを取り出します。

以上で、メモリカードドライブとして使う手順説明は終了です。

ソフトウェアの使い方 / 活用方法は、活用ガイドをご覧ください

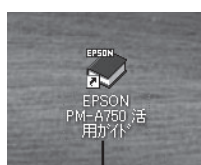
活用ガイドとは

活用ガイドとは、パソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。
ソフトウェアのインストールの際、同時にパソコンにインストールされます。
（CD-ROM を毎回セットする必要はありません。）

活用ガイドは、Microsoft Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧いただけます。また、PDF データをダウンロードしてご覧いただくこともできます。ダウンロードサービスについては、以下のホームページをご覧ください。
（http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/）

活用ガイドの表示方法

デスクトップ上の［EPSON PM-A750 活用ガイド］のアイコンをダブルクリックして表示します。

Windows の場合

ダブルクリック

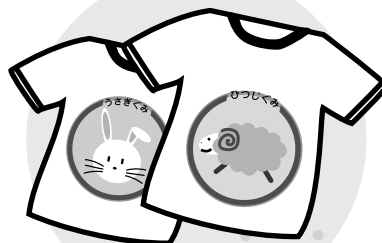
参考

- 【Windows の場合】
  ①［スタート］ー②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）ー③［EPSON］ー④［EPSON PM-A750 活用ガイド］の順にクリックします。
- 【Mac OS X の場合】
  ①［ハードディスク］ー②［アプリケーション］ー③［EPSON_TPMANUAL］ー④［PM-A750］ー⑤［活用ガイド］の順にダブルクリックします。

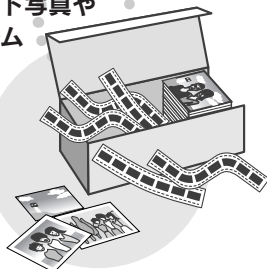
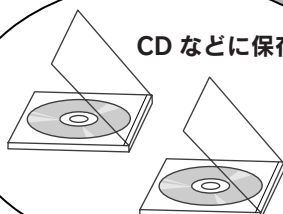
活用ガイドには楽しいグッズを作るアイディアがいっぱい !!

プリンタ編

写真を印刷

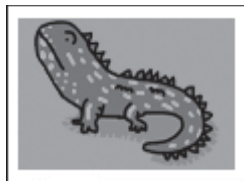
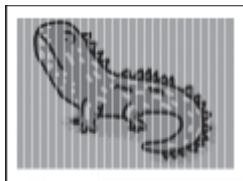
オリジナル T シャツ

フレームで飾って

シールにしたり人にあげたり

スキャナ編

上手に長くお使いいただくコツ

プリントヘッド(ノズル)の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常時

目詰まり時

プリントヘッドの乾燥を防ぐ

■ 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには

- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン / オフは、必ず操作パネル上の【電源】ボタンで行ってください。

■ 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

■ インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドがキャップされない状態になり、乾燥してしまいます。

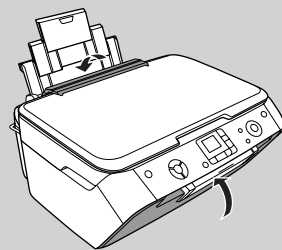
これを防ぐには

インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ホコリが付かないようにする

■ プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

- 使用しない時は、内部にホコリが入らないように、給紙口カバーや排紙トレイを閉じてください。
- 長期間使用しない時は、布やシートなど（静電気が起きにくいもの）をかけておくことをお勧めします。

■ 内部の汚れをティッシュペーパーなどでふくと、ティッシュペーパーの繊維くずがプリントヘッドに付いて目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

内部の汚れはふき取らずに、以下のコピー操作によりクリーニングしてください。
①用紙をセットします。
②原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないかを確認します。
③原稿台に原稿をセットせずに、コピーを実行します。
本書 22 ページ「基本的なコピー」
※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、①〜③の手順を繰り返してください。

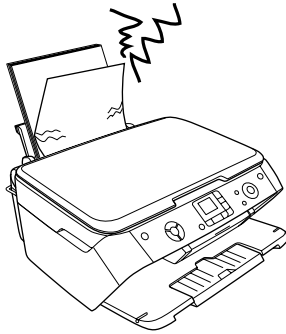
印刷を実行する前に

■ プリントヘッドの目詰まりを防いでいても、環境などによっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには

印刷品質を重視する写真の印刷や、大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
本書 62 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには

- 指定外の用紙は使用しないでください。
  ☞ 本書 13 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙によって取り扱い方やセットできる枚数が異なります。用紙ごとにセット方法をご確認ください。
  ☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

きれいにスキャンするために

原稿台や原稿に汚れやホコリが付かないようにする

原稿台や原稿自体が汚れていたり、ホコリが付いていたりすると、汚れやホコリまでスキャンしてしまいます。

これを防ぐには

- 原稿をセットする前に、原稿台に汚れやホコリが付いていないかを確認してください。
- 原稿台（ガラス面）を、ティッシュペーパーなどの繊維くずが出るものでふかないでください。メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ることをお勧めします。
- 原稿や写真フィルムのホコリを取ろうして、息を吹きかけないでください。つばが飛んで原稿や写真フィルムが汚れる場合があります。
- 印刷した用紙を原稿としてセットする場合は、インクが原稿台に付かないように、よく乾燥させてからセットしてください。
- 使用しないときは、原稿台にホコリが付かないように、原稿カバーを閉じておいてください。
- フィルムスキャンをするときは、フィルムホルダの透明な部分が汚れていないかを確認してください。もし、汚れたり曇ったりしている場合は、メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ってください。

印刷後は・・・

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

参考

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご覧ください。

十分に乾燥させる

乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。

これを防ぐには

- 印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまず、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は速やかに保存・展示を行ってください。

- **クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存**
  光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

- **ガラス付き額縁に入れて展示**
  空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

参考

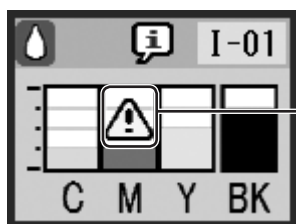
- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどに入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

インク残量の確認

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［インク残量］を選択します。

3 インク残量を確認します。

再度【スタート / 決定】ボタンを押した後、【セットアップ】ボタンを押して元の画面に戻ります。

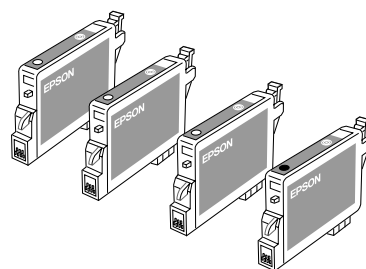
参考
インク残量の表示は、25% 刻みで切り上げ表示されます。インク残量が少なくなったときは、液晶ディスプレイの左上にインク滴のアイコンが表示されます。

新しいインクカートリッジの用意

インク残量が少なくなって、液晶ディスプレイの左上にインク滴のアイコンが表示されると、まもなくインクがなくなります。

しばらくは印刷できますが、インクが 1 色でも完全になくなると、インクカートリッジを交換するまで印刷ができなくなります。
お早めに新しいインクカートリッジをご用意ください。

エプソンのインクカートリッジ純正品型番

【C】　シアン　：ICC32
【M】　マゼンタ　：ICM32
【Y】　イエロー　：ICY32
【BK】　ブラック　：ICBK32

参考
本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。

インクカートリッジ交換時のご注意

⚠注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は6ヶ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは取り付ける直前に開封してください。開封したまま長時間放置すると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板に触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などのカートリッジ固有情報を管理しているため、使用途中に取り外しても、再装着して使用できます。ただし、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部分を下にするか横にして保管してください。（インク供給孔部を上にして保管しないでください。）なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部に付いたインクで周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温で放置してからご使用ください。
- インクカートリッジのラベル類は、絶対にはがさないでください。ラベルをはがすとインクが漏れるおそれがあります。

保管上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは子供の手の届かないところに保管してください。

交換時のご注意

- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶していますが、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク残量は変わりません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中は電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄の回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

使用済みインクカートリッジについて

使用済みインクカートリッジの回収にご協力ください。
☞ 本書巻末「インクカートリッジの回収について」

インク消費について

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。

- インクカートリッジ装着時
- 印刷前に行われるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時

※ 初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されます。

インク残量があるときのインクカートリッジの交換方法

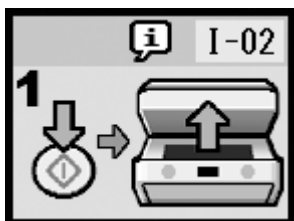
通常は、いずれかのインクがなくなるまでインクカートリッジを交換する必要はありませんが、何らかの理由（大量印刷など）ですぐに交換する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［インクカートリッジ交換］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【スタート / 決定】ボタンを押す

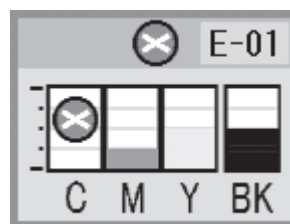
3 **再度【スタート / 決定】ボタンを押します。**

プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

【スタート / 決定】ボタンを押す

この後の手順については、次の「インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法」の手順3以降をご覧ください。

インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法

4 色のインクカートリッジのうち、1 色だけでもインクがなくなると、印刷ができなくなります。以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

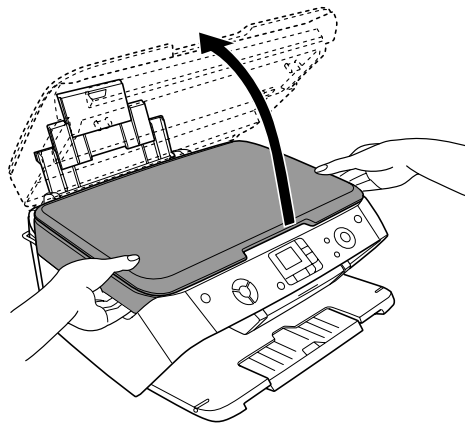
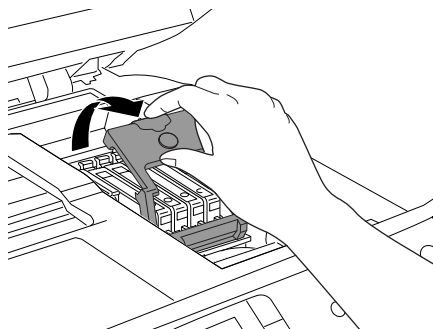
1 **交換の必要なインクカートリッジが×印で示されますので、この色のインクカートリッジを用意して【スタート / 決定】ボタンを押します。**

【スタート / 決定】ボタンを押す

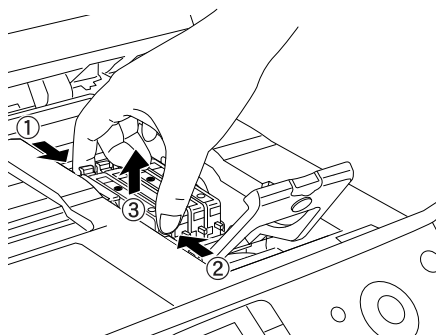
2 **再度【スタート / 決定】ボタンを押します。**

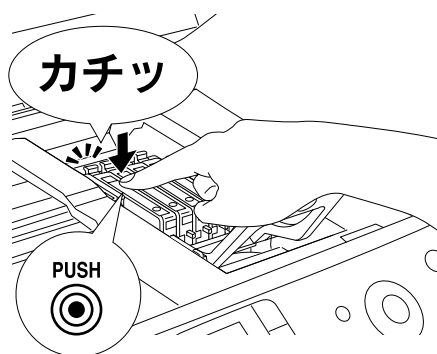
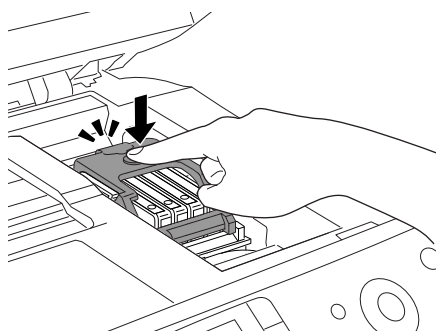
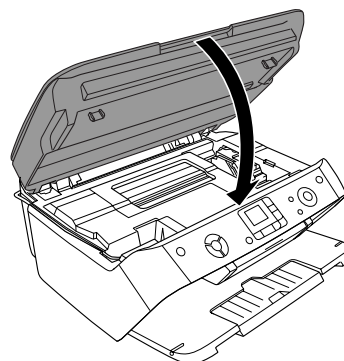
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

3 **新しいインクカートリッジを袋から取り出します。**

4 **スキャナユニットを開けます。**

両側の取っ手に手をかけて、静かに開けます。

5 **カートリッジ固定カバーを開けます。**

6 **交換の必要なインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り外します。

7 **新しいインクカートリッジをセットします。**

◎の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

8 **カートリッジ固定カバーを元の位置に倒して閉じます。**

9 **スキャナユニットを閉じます。**

10 **【スタート / 決定】ボタンを押します。**

インク充てんが始まります。

インク充てんは約 1 分かかります。

11 **［処理中］の表示が消えたらインク充てんは完了です。**

［セットアップ］モードからインクカートリッジ交換を実行した場合には、【セットアップ】ボタンを押して通常表示に戻ります。

！注意

インク充てんが始まらない場合は、インクカートリッジをセットし直してみてください。

参考

インクカートリッジの回収にご協力ください。
詳しくは以下をご覧ください。
☞本書巻末「インクカートリッジの回収について」

以上で、インクカートリッジ交換の手順説明は終了です。

メンテナンス

ノズルチェックとヘッドクリーニング

ノズルチェック

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷される場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

①ノズルチェックパターンの印刷

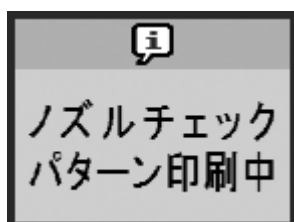
1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **［ノズルチェック］を選択します。**

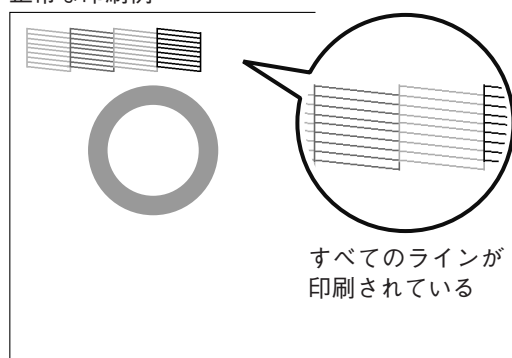
【▷】か【◁】ボタンで選択

4 **ノズルチェックパターンを印刷します。**

【スタート / 決定】ボタンで開始

②ノズルチェック（目詰まりの確認）

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

すべてのラインが印刷されている場合

正常な印刷例

ノズルは目詰まりしていません。

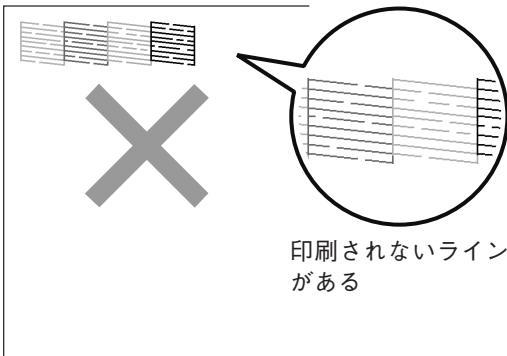
【セットアップ】ボタンを押して、元の画面に戻ります。

参考

きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下のページをご覧ください。

本書 69 ページ「印刷品質 / 結果のトラブル」

印刷されないラインがある

ノズルが目詰まりしているときの印刷例

ノズルは目詰まりしています。

次の「ヘッドクリーニング」の手順に進んで、ヘッドクリーニングを実行してください。

参考

- ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。
- 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されない場合があります。
  ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回程度繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
  それでも目詰まりが改善できない場合は、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  本書 95 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

以上で、ノズルチェックの手順説明は終了です。

ヘッドクリーニング

参考

ヘッドクリーニングは、インクを吐出して、プリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［ヘッドクリーニング］を選択します。**

【▷】か【◁】ボタンで選択

3 **ヘッドクリーニングを実行します。**

ヘッドクリーニングが終了すると元の画面に戻ります。

【スタート / 決定】ボタンで開始

4 **ノズルの目詰まりを再確認します。**

前ページの「ノズルチェックパターンの印刷」に戻り、ノズルチェックを実行してください。

以上で、ヘッドクリーニングの手順説明は終了です。

プリントヘッドのギャップ調整

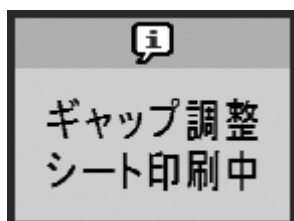
縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。下記の手順でギャップ調整してください。

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

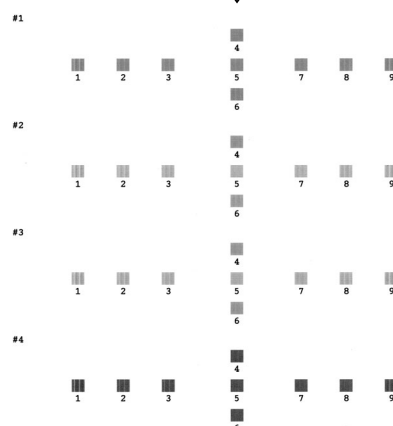
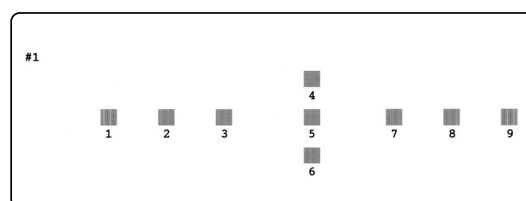
本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **［ギャップ調整］を選択します。**

4 **ギャップ調整パターンを印刷します。**

【スタート / 決定】ボタンで開始

5 **印刷されたギャップ調整パターンを確認します。**

＃ 1 から＃ 4 それぞれについて、縦スジのないパターン番号（1 ～ 9）を探します。下図の＃ 1 の例では、「4」を選択します。

6 **印刷結果の情報を設定します。**

＃ 1 から＃ 4 まで、手順5で確認した番号を設定します。

①【▽】か【△】ボタンで設定
②【スタート / 決定】ボタンで決定
③①と②を繰り返して、＃ 1～＃ 4 を設定する

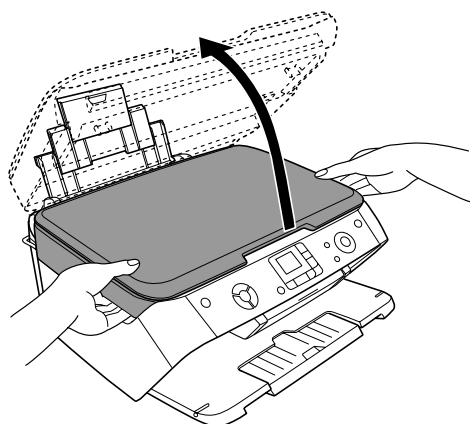
7 **【セットアップ】ボタンを押して、元の画面に戻ります。**

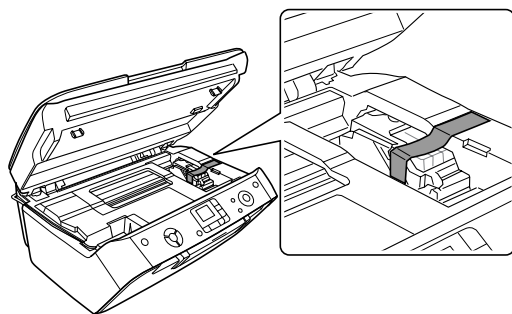
以上で、ギャップ調整の手順説明は終了です。

輸送時(引っ越しや修理のとき)のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

プリントヘッドの固定

1 **スキャナユニットを開けます。**

2 **プリントヘッド（インクカートリッジセット部）が動かないように、市販のテープなどで本体カバーにしっかりと固定します。**

長時間貼り付けると、糊がはがれにくくなるテープもありますので、輸送後は直ちにはがしてください。

3 **スキャナユニットを閉じます。**

梱包

1 **用紙サポートと排紙トレイを閉じます。**

2 **電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを取り外します。**

パソコンと接続している場合は、USB ケーブルをパソコンから外します。

3 **梱包材を取り付け、本製品を水平に梱包箱に入れます。**

!注意
保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

輸送後のご注意

- プリントヘッドを固定したテープをはがしてください。
- 印刷不良が発生した場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞ 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」

電源 / 操作パネルのトラブル

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">● 電源が入らない</td><td rowspan="2">電源ランプが点滅 / 点灯しない
○ 電源</td><td>■【電源】ボタンを少し長めに押してください。</td></tr>
<tr><td>■ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかをご確認ください。
■ コンセントに電源はきていますか？
ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。ほかの電化製品の電源が入る場合は、本製品の故障が考えられます。</td></tr>
<tr><td>電源ランプは点灯しているが、液晶ディスプレイに何も表示されない</td><td>■ スリープモードになっています（電源は入っています）。
【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 電源が切れない</td><td>■【電源】ボタンを少し長めに押してください。
どうしても電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず【電源】ボタンで電源をオフにしてください。そうしないと、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 液晶ディスプレイが暗くなった</td><td>■ スリープモードになっています。
【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押すと、通常表示に戻ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからない</td><td>■ メッセージを確認し、エラー表示一覧をご覧ください。
本書 89 ページ「エラー表示一覧」</td></tr>
</table>

給紙 / 排紙のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 用紙が詰まった	■ **無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。** ☞ 本書 68 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
● L 判 /A4 などの定形紙が、うまく給紙できない / 送られない	■ **用紙のセット方法は正しいですか？** 以下の項目をチェックしてください。 • 用紙の端をよく揃えましたか？ • 用紙を縦方向にセットしていますか？（往復ハガキのみ横方向） • セットしている用紙の量が多すぎませんか？ 正しいセット方法をご確認ください。 ☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」 ■ **本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？** 使用できない用紙を使うと、紙詰まりの原因になります。以下の項目をチェックしてください。 • 用紙にシワや折り目はないですか？ • 用紙は厚すぎたり薄すぎたりしませんか？ • 用紙が湿気を含んでいませんか？ • 用紙が反っていませんか？ • ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴のあいている用紙ではありませんか？ 使用できる用紙をご確認ください。 ☞ 本書 13 ページ「印刷できる用紙」 ■ **本製品は水平な場所に設置されていますか？** 以下の場合は、本製品の内部機構に無理な力がかかって歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。 • 設置場所が水平ではない • 設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれている • プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出している また、一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。 ■ **一般の室温環境下で使用されていますか？** 一般の室温環境下(室温:15～25 度、湿度:40～60%)以外で使用した場合は、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。 ■ **製品内部のローラが汚れている可能性があります。** お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが同梱されている場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞ 本書 56 ページ「ホコリが付かないようにする」－「これを防ぐには」

詰まった用紙の取り除き方法

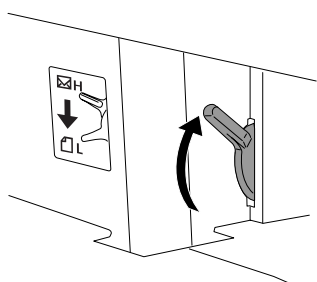
!注意
- 詰まった用紙を手で取り除くときは、絶対に強く引っ張らないでください。強く引っ張ると、本製品が故障するおそれがあります。
- 詰まった用紙がどうしても取り除けない場合は、本製品を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、修理をご依頼ください。

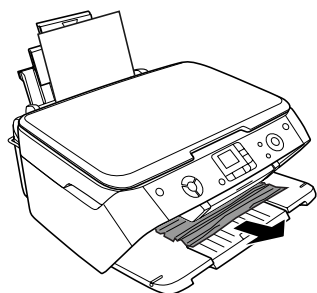
L 判 /A4 などの定形紙の場合

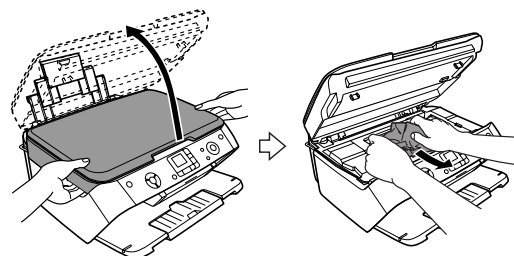
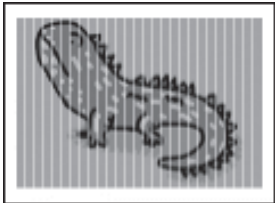
1 【スタート / 決定】ボタンを押します。

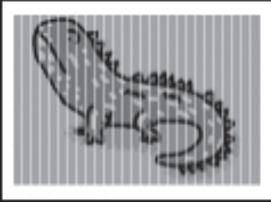
詰まった用紙が排出される場合があります。
排出されない場合は、手順2に進んでください。

2 電源をオフにします。

3 アジャストレバーを封筒側（H）にスライドさせます。

4 排紙トレイの奥に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

用紙が取り除けたら、アジャストレバーを用紙側（L）にスライドさせます。取り除けない場合は、手順5に進んでください。

5 スキャナユニットを開け、内部に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

用紙が取り除けたら、アジャストレバーを用紙側（L）にスライドさせます。取り除けない場合は、手順6に進んでください。

6 給紙口に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

用紙が取り除けたら、アジャストレバーを用紙側（L）にスライドさせます。

名刺 / カードなどの小さい用紙の場合

1 名刺またはカードサイズの用紙を、もう 1 枚セットします。

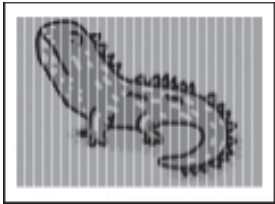
必ず縦方向にセットしてください。

2 【スタート / 決定】ボタンを押します。

詰まっている用紙が送り出されます。
送り出されずに内部で止まっている場合は、手順3に進んでください。

3 電源をオフにします。

4 スキャナユニットを開け、内部に詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。

印刷品質 / 結果のトラブル

＜印刷品質が悪い / きれいに印刷できない＞

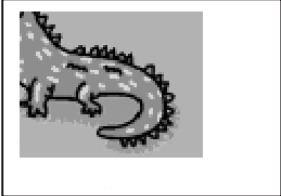
症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法	
● かすれる ● スジや線が入る / シマシマになる ● ぼやける ● 文字や罫線がガタガタになる ● 色合いがおかしい ● 印刷されない色がある ● 印刷にムラがある ● モザイクがかかったように印刷される ● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	本体	■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 **＜操作パネルで操作する場合＞** ☞ 本書 62 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 **＜パソコンから操作する場合＞** ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ■ **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？** 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。 ☞ 本書巻末「インクカートリッジの型番」 ■ **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？** 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。 ■ **パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？** ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色について」 ■ **双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？** 本製品は高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。この双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合があります。 ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。 **＜操作パネルで操作する場合＞** ☞ 本書 64 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 **＜パソコンから操作する場合＞** ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ギャップ調整」 ■ **フィルムから写真プリントをした場合には、フィルムが正しくセットされているかどうかをご確認ください。** ☞ 本書 42 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **寒い場所でフィルムからの写真プリントを実行していませんか？** 低温環境でフィルムからの写真プリントを実行すると、印刷結果に色ムラが発生する場合があります。 そのような場合には、本体をそのままの状態で（電源をオフにしたり、モードを変更したりせずに）10 分程度放置し、再度フィルムからの写真プリントを実行してください。

（続き）

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th colspan="2">確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● かすれる
● スジや線が入る / シマシマになる

● ぼやける

● 文字や罫線がガタガタになる

● 色合いがおかしい
● 印刷されない色がある
● 印刷にムラがある
● モザイクがかかったように印刷される
● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）</td><td>用紙</td><td>■ 写真などを普通紙に印刷していませんか？
画像などの文字に比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむ場合があります。画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。
☞ 本書 13 ページ「印刷できる用紙」－「エプソン製専用紙」
■ 用紙の裏面に印刷していませんか？
専用紙には裏表があります。以下のページ、または専用紙の説明書を参照し、表面（印刷面）を手前にしてセットしてください。
☞ 本書 19 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」
■ 印刷後、次の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥させてください。重なっている状態で放置すると、1 枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなります。
☞ 本書 57 ページ「印刷後は・・・」</td></tr>
<tr><td>印刷設定</td><td>■ ［紙種］※の設定は正しいですか？
セットした用紙の種類と［紙種］※が合っていないと、印刷品質が悪くなります。［紙種］※をご確認ください。
※ パソコンから印刷する場合には［用紙種類］の設定を確認してください。
☞ 本書 24 ページ「基本的なコピー」手順6
☞ 本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順5
☞ 本書 49 ページ「用紙種類の設定について」
■ ［普通紙コピー品質］の設定を［エコノミー］にしてコピーしていませんか？
［エコノミー］に設定していると低解像度でコピーされます。［速い］または［きれい］の設定でコピーをお試しください。
■ パソコンからの印刷時に、印刷品質の低いモード（［速い］など）を選択していませんか？
印刷品質の設定値は［用紙種類］などによって異なりますが、［速い］や［エコノミー］に設定していると、低解像度で印刷されます。［きれい］や［フォト］などの設定で印刷をお試しください。
■ カラー調整の設定をしていませんか？
明るさやコントラストなどのカラー調整をすると、印刷結果の濃さが変わります。印刷設定をご確認ください。
☞ 本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」
☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色を補正して印刷しよう」
■ オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？
• オートフォトファインは、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
• オートフォトファインで印刷すると、画像内のピントがあっていない場所で不自然な階調が生じる場合があります。この場合は、オートフォトファイン以外のモードを選択して印刷してください。
☞ 本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」</td></tr>
</table>

（続き）

症状 / トラブル状態

- かすれる
- スジや線が入る / シマシマになる

- ぼやける

- 文字や罫線がガタガタになる

- 色合いがおかしい
- 印刷されない色がある
- 印刷にムラがある
- モザイクがかかったように印刷される
- 印刷の目が粗い（ギザギザしている）

確認 / 対処方法

データ

■ **写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？**

デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。

画像サイズに適した印刷サイズは以下の通りです。

デジタルカメラの画素数	標準的な画像サイズ（ピクセル）	印刷サイズの目安			
		カード	L 判	2L 判	A4
約 30 万画素	640 × 480	◎	○	△	△
約 48 万画素	800 × 600	◎	○	△	△
約 80 万画素	1024 × 768	◎	◎	○	△
約 130 万画素	1280 × 1024	◎	◎	◎	△
約 200 万画素	1600 × 1200	□	◎	◎	○
約 300 万画素	2048 × 1536	□	◎	◎	○
約 400 万画素	2240 × 1680	□	◎	◎	◎
約 500 万画素	2560 × 1920	※	□	◎	◎
約 600 万画素	2816 × 2120	※	□	◎	◎
約 700 万画素	3072 × 2304	※	□	◎	◎
約 800 万画素	3250 × 2450	※	□	□	◎

△：画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない。
○：やや画素数が少ないが、良好な印刷結果が得られる。
◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
※：良好な印刷結果が得られるが、印刷結果向上のためにはこれほど多くの画素は必要なし。

☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度とは？」

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 印刷面がこすれる / 汚れる 	用紙	■ **ハガキの通信面に印刷した後、その印刷結果（インク）が乾いていない状態で宛名面に印刷していませんか？** インクが乾いていない状態で宛名面に印刷すると、次のハガキに転写する場合があります。通信面を印刷した後は、十分に乾かしてから宛名面に印刷してください。また、先に宛名面から印刷することをお勧めします。 ■ **両面マット紙（名刺）に印刷する際に、用紙サイズいっぱいに文字やイラストの入ったデータを印刷していませんか？** 両面マット紙（名刺）の両面に印刷する場合には、端に色やイラストの入っていないデータ（面）から印刷してください。 ■ **反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙を使用していませんか？** 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙をこする場合があります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。 なお、一部のエプソン製専用紙は、反りを修正する際に印刷面を傷つけてしまうおそれがありますので、以下のページを確認してから、反りを修正してください。 ☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」 ■ **用紙を横方向にセットしていませんか？** 用紙は、縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向）。横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこする場合があります。 ■ **仕様外の厚い用紙を使用していませんか？** 本製品で使用できるエプソン製純正品以外の用紙の厚さは、0.08 ～ 0.27mm です。この規格以外の用紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすって、印刷結果が汚れる場合があります。仕様に合った用紙をご使用ください。 ■ **専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？** 専用紙は普通紙などと比べてインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。
	印刷領域	■ **フチなし印刷時、フチなし印刷推奨の用紙をお使いになっていますか？** フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。下記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 • A4：写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 • ハガキ：各種郵便ハガキ / 各種エプソン製専用ハガキ • カード /L 判 /2L 判 / 六切：写真用紙 • 名刺：両面マット紙 ■ **フチなし印刷推奨の用紙でも汚れが発生しますか？** 「こすれ軽減」機能をお試しください。 なお、「こすれ軽減」機能は、印刷速度が遅くなる場合があります。印刷こすれが発生したときのみご使用ください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「印刷面がこすれる / 汚れる」 ■ **標準（フチあり）印刷時、印刷推奨領域外に印刷していませんか？** 印刷推奨領域外では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 「こすれ軽減」機能をお試しください。設定手順は、この上の項目と同じです。
	本体	■ **本製品の内部が汚れていませんか？** 本製品の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。以下をご覧のうえ、内部をクリーニングしてください。 ☞ 本書 56 ページ「ホコリが付かないようにする」－「これを防ぐには」

＜印刷結果のトラブル＞

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th colspan="2">確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● 印刷位置がずれる / はみ出す</td><td>本体</td><td>■ 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？
また、用紙が曲がってセットされていませんか？
一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。
本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」</td></tr>
<tr><td>印刷設定</td><td>■ 用紙サイズの設定は正しいですか？
セットした用紙のサイズと［サイズ］※が合っていないと、印刷位置がずれたり、はみ出したりします。［サイズ］※をご確認ください。
※ パソコンから印刷する場合には［用紙サイズ］の設定を確認してください。
本書 24 ページ「基本的なコピー」手順6
本書 32 ページ「写真プリントの基本手順」手順5
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「用紙別プリンタドライバ設定一覧」

■ フチなし印刷をしていませんか？
フチなし印刷は、原稿を用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。なお、はみ出し量は 3 段階［標準］［少ない］［より少ない］で調整することができます。
本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「四辺フチなし印刷をしよう」

■ 本製品単体で、フィルムから写真プリントしていませんか？
フィルム印刷は、フィルム画像より一回り小さい範囲がスキャンされ、そのスキャンデータが印刷されます。フチなし印刷の場合は、スキャンした画像を少し拡大して印刷するため、画像の周りがさらに欠けてしまいます。
パソコンと接続すると、スキャナドライバのホームモードまたはプロフェッショナルモードで、取り込み領域を指定してスキャンすることができます。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

■ ホームページを印刷していませんか？
本書 74 ページ「ホームページを思い通りに印刷できない」</td></tr>
</table>

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法	
● フチなし印刷ができない		印刷設定	■ **パソコンからの印刷時に、フチなし印刷をするように設定しましたか？** • 付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』を使用すれば、簡単にフチなし印刷することができます。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「写真をかんたんきれいに印刷しよう」 • 市販のアプリケーションソフトを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙設定］の［四辺フチなし］をチェックして印刷してください。ほかにも、写真データと用紙サイズの縦横比を調整するなど、注意が必要です。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「市販ソフトウェアで写真を印刷しよう」
		用紙	■ **規格サイズ（※）よりも長さが短い用紙を使用していませんか？** 規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙を使用すると、用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。フチなし印刷する場合は、規格サイズの用紙をお使いください。 ※ A4：210 × 297mm/ ハガキ：100 × 148mm/ 名刺：55 × 91mm/ カード：54 × 86mm/ L 判：89 × 127mm/2L 判：127 × 178mm/ 六切：203 × 254mm
● ホームページを思い通りに印刷できない	ページの右端が欠けて印刷される	■ **ホームページが、印刷のことを考えて制作されていないためです。** • 付属のアプリケーションソフト「EPSON Web-To-Page」を使用すれば、ページの右端が欠けることなく印刷できます。 • ブラウザソフトの標準機能で印刷することも可能です。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」	
	背景色が印刷されない	■ **Microsoft Internet Explorer の初期設定では、ホームページの背景色や背景の画像は、印刷されない設定になっています。** 背景を印刷する場合は、以下をご覧ください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」	
	画像が粗い	■ **ホームページでは、データ通信を優先するために低解像度の画像が使用されている場合が多くあります。** 低解像度の画像は、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られない場合があります。	

スキャン品質 / 結果のトラブル

<スキャン品質が悪い>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像が暗い	■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** 明るさとコントラストを調整してみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「明るさとコントラストを調整する1（簡単設定）」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「明るさとコントラストを調整する2（ヒストグラム調整）」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「明るさとコントラストを調整する3（濃度補正）」 ■ **EPSON Scan のカラー調整の設定を確認してください。** EPSON Scan の［ホームモード］/［プロフェッショナルモード］画面下にある［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックし、以下の手順で確認してください。 ①［ドライバによる色補正］の［常に自動露出を実行］がチェックされていることを確認してください。チェックが外れていると、自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になる場合があります。 ②［推奨値］をクリックしてください。EPSON Scan の自動露出が正しく機能するようになります。 ③印刷する場合は、［ドライバによる色補正］の［ディスプレイガンマ］を設定してください。設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。 ■ **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」
● 画像がぼやける	■ **解像度が適切に設定されていますか？** EPSON Scan で適切な解像度を設定してスキャンしてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度について」 ■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON Scanのプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］ボタンをクリックしてみてください。 • ［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用してみてください。 なお、［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じる場合があります。モアレが生じる場合は、［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去フィルタ）」

（続き）

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像の色合いがおかしい ● 画像の色が原稿の色と違う	■ **EPSON Scan の［イメージタイプ］を正しく設定していますか？（全自動モードを除く）** スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。 ■ **EPSON Scan の画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？** 明るさ調整など、EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なる場合があります。 ■ **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」 ■ **アプリケーションソフトでのディスプレイ設定をしていますか？** Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、ディスプレイのキャリブレーションを行ってください。 ディスプレイ設定を行うと、ディスプレイやディスプレイアダプタによるクセをソフトウェア上で取り除き、画像を適切に表示することができます。詳しい手順は、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。 ■ **原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。** 印刷物の色とディスプレイ表示の色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色について」
● 裏写りする	■ **裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？** 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。 ■ **スキャン時の設定は原稿に合っていますか？** 原稿に合った設定でスキャンしてください。 正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「雑誌などの記事をスキャンして電子スクラップを作ろう」

（続き）

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像にモアレ（網目状の陰影）が出る	■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • ［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 • ［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去フィルタ）」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 ■ **原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。** スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。 ■ **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［解像度］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。**
● 画像にムラ / シミ / 斑点が出る	■ **原稿台が汚れていませんか？** 原稿台のガラス面は、きれいにしておいてください。 ☞ 本書 57 ページ「きれいにスキャンするために」 ■ **スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？** スキャンするときに原稿カバーや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。強く押さえ過ぎないようにしてください。写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらしてみてください。 ■ **寒い場所でフィルムからの写真プリントを実行していませんか？** 低温環境でフィルムからの写真プリントを実行すると、印刷結果に色ムラが発生する場合があります。 そのような場合には、本体をそのままの状態で（電源をオフにしたり、モードを変更したりせずに）10 分程度放置し、再度フィルムからの写真プリントを実行してください。
● フィルムスキャン時、画像の上に円や楕円状の縞模様が出る	■ **フィルムが反っていたり、原稿台に密着していませんか？** 原稿台への置き方によっては、フィルムの一部が原稿台と密着して、ニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が発生することがあります。この場合は、ベース面（像が正しく見える面 / フィルムメーカーが正しく見える面）を下にセットしてから、EPSON Scan（全自動モード以外のモードをお使いください）でスキャンしてください。 スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。

＜正常にスキャンできない＞

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる	共通	**■ 原稿がセットされていますか？** 原稿台に原稿がセットされているか確認してください。 **■ 原稿カバーに保護マットが付いていますか？** 写真などの反射原稿をスキャンするときには、原稿カバーに保護マットを取り付ける必要があります。逆に、フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 ☞ 本書 21 ページ「原稿のセット方法」 **■ 原稿台のガラス面にゴミがありませんか？** 原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできない場合があります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合は取り除いてください。
	全自動モードでスキャンするとき	**■ EPSON Scan の全自動モードでスキャンする場合、全自動モードに対応した原稿をセットしていますか？** 全自動モードでスキャンできる原稿は以下の通りです。 全自動モードに対応していない原稿を、全自動モードでスキャンすると、正常にスキャンできない場合があります。 • カラーおよびモノクロの写真 • 新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など • カラーの 35mm フルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ） • カラーの 35mm フルサイズ マウントフィルム なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで［通常表示］を選択してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示について」 **■ 極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？** 以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。 • 極端に暗い（または明るい）画像 • ポジフィルムで単色に近い画像 • 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像 その場合は、EPSON Scanのホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる	EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンするとき	■ **サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？** サムネイルプレビューで使用できる原稿は以下の通りです。 サムネイルプレビューに対応していない原稿を、サムネイルプレビューでスキャンしても、正常にスキャンできません。 • カラーおよびモノクロの写真 • 白黒またはカラーの 35mm フルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ） • 白黒またはカラーの 35mm フルサイズ マウントフィルム なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで［通常表示］を選択してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示について」 ■ **極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？** 以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。 • 極端に暗い（または明るい）画像 • ポジフィルムで単色に近い画像 • 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像 その場合は、EPSON Scanのホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 ■ **スキャン領域のサイズを調整してみてください。（全自動モードを除く）** EPSON Scan の［環境設定］にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。
	写真を複数枚同時にスキャンするとき	■ **正しい位置に原稿をセットしていますか？** 写真などの原稿を並べてセットするときは、以下の点に注意して置いてください。 **<写真コピー時>** • 原稿台の原点マークから 5mm 以上離してセットしてください。 • 写真と写真の間隔を 10mm 以上あけてください。 本書 26 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」 **< EPSON Scan 使用時>** • 全自動モード、ホーム / プロフェッショナルモードのサムネイルプレビューを選択しているときは、原稿台の原点マークから 5.5mm 以上離してセットしてください。 • ホーム / プロフェッショナルモードの通常プレビューを選択しているときは、原稿台の原点マークから 2.5 ｍｍ以上離してセットしてください。 • 写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてください。

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる	フィルムをスキャンするとき	■ **保護マットを外していますか？** フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 ☞ 本書 44 ページ「写真プリントの基本手順」 ■ **フィルムホルダを使用していますか？** フィルムは、原稿台に直接セットせずに、付属のフィルムホルダにセットしてください。 ☞ 本書 42 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？** 付属のフィルムホルダには、光量を補正するための切り抜き部分があります。この部分にフィルムがかからないように、正しくセットしてください。 ☞ 本書 42 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **標準コマとパノラマが混在していませんか？** セットしたフィルムに、標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常にスキャンされません。パノラマを含むフィルムをスキャンする場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
	テキストデータに変換するときの認識率が悪い	■ **原稿が斜めにセットされていませんか？** 原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下するため、原稿はまっすぐセットしてください。原稿カバーは、セットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。 ■ **原稿の品質に問題がありませんか？** 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率が下がることがあります。 • 何度もコピーした原稿（コピーのコピー） • FAX 受信した原稿 • 文字間や行間が狭すぎる原稿 • 文字に罫線や下線がかかっている原稿 • 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿 • 折り跡やしわがある原稿 • 本の綴じ込み付近 • 手書き文字

<その他のトラブル>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● フィルムのセット時に、蛍光ランプが消えない	■ **フィルムのスキャンが終了した後も、原稿カバー裏のランプがしばらく点灯しています。** ウォーミングアップの時間を短縮するため、しばらくランプが点灯しています。特に問題ありませんので、そのままでお使いください。
● スキャンに時間がかかる	■ **画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。 適切な解像度がわからないときは、EPSON Scanの全自動モードでスキャンしてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度を上げるときれいになる？」 ■ **フィルムをスキャンしていませんか？** フィルムのスキャンでは複雑な画像変換処理が必要なため、写真などの原稿よりも時間がかかります。 ■ **USB1.1 を使用してスキャンしていませんか？** お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。 USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。 USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。 ただし、USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
● 画像が画面に大きく表示される	■ **画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の 1 つ 1 つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。
● プレビュー画像の色がおかしい ※ 機種によって［高速プレビュー］がない場合もあります。	■ **［環境設定］画面の［高速プレビュー］をチェックしていませんか？** ［環境設定］画面の［プレビュー］タブで［高速プレビュー］のチェックを外すと、プレビュー画像が高品質になります。

パソコンから印刷できない / スキャンできない / インストール失敗

	確認 / 対処方法
1. 本製品をチェック	■ **本製品にエラーが発生している場合は、解除してください。** ☞ 本書 89 ページ「エラー表示一覧」
2. パソコンとの接続をチェック	■ **ケーブルは外れていませんか？** ケーブルがしっかり接続されているかをご確認ください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかもご確認ください。 ■ **USB ケーブルの接続口を変えてみてください。** パソコンに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。 ■ **パソコンの仕様が、ケーブル接続条件を満たしていますか？** ☞ 本書 98 ページ「製品仕様」－「USB ケーブルについて」 ■ **パソコンとの間に、プリンタ切替機やプリンタバッファなどを使っていませんか？** プリンタ切替機やプリンタバッファなどを使っていると、プリンタとパソコンの情報データのやり取りがうまくいかず、印刷できない場合があります。プリンタ切替機やバッファを取り外し、パソコンに本製品を直接つないだ状態で、正常に印刷 / スキャンできるかをご確認ください。正常に動作した場合は、切替機やバッファメーカーへお問い合わせください。 ■ **USB ハブをお使いの場合に、使い方は正しいですか？** USB ハブは仕様上 5 段まで縦列接続できますが、プリンタと接続する場合は、パソコンに直接接続された 1 段目のハブに接続してください。それでも印刷が始まらない場合は、USB ハブを外して、プリンタとパソコンを直結してください。 USBハブ ■ **USB ハブをお使いの場合に、USB ハブはパソコンに正しく認識されていますか？** パソコンで USB ハブが正しく認識されているかをご確認ください。

	確認 / 対処方法
3. パソコンをチェック	■ **プリンタドライバとスキャナドライバが、正常にインストールされていますか？** パソコンから印刷する場合はプリンタドライバ、スキャンする場合はスキャナドライバ（EPSON Scan）が必要です。各ドライバのインストール状態を確認してください。 ☞ 本書 84 ページ「ドライバのインストール状態を確認（Windows)」 ■ **パソコン（印刷キュー）に印刷待ちのデータがありませんか？** パソコン（印刷キュー）に印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらない場合があります。印刷キューを表示して印刷待ちデータを確認し、印刷を再開するか取り消してください。 ①［プリンタ］フォルダの本製品のアイコンをダブルクリック ②印刷待ちデータを右クリックし、［再印刷］または［キャンセル］などをクリック ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows でツールバーの［印刷］アイコンをクリックして印刷する場合、「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？** ［プリンタ］フォルダの本製品のアイコンに ✔ マークが付いていることを確認してください。✔ マークが付いていない場合はアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows の場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？** • Windows XP の場合、［プリンタ］フォルダのアイコンのステータスを確認し、［一時停止］になっている場合はアイコンを右クリックして［印刷の再開］をクリックします。 • Windows 98/Me/2000 の場合、［プリンタ］フォルダのアイコンを右クリックして［一時停止］にチェックされていないか確認し、チェックが付いていたら外します。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows 98/Me の場合、スプールマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？** スプールマネージャは、印刷を開始すると画面下のタスクバー上に表示され、クリックすると画面が開きます。 印刷データをクリックし、［一時停止 / 再開］ボタンをクリックしてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「印刷状況を確認」 ■ **Mac OS X の場合、クラシック環境で使用していませんか？** 本製品は、Mac OS X のクラシック環境での動作を保証しておりません。クラシック環境ではご使用にならないでください。 ■ **「通信エラー」や「書き込みエラー」などのメッセージが表示されていませんか？** ☞ 本書 87 ページ「その他のトラブル」－「パソコンにエラー画面が表示される」 ■ **パソコンが、必要なシステム条件を満たしていますか？** ハードディスクの空き容量やメモリの空き容量などが少ないと、ソフトウェアがインストールできないため、使用できない場合があります。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバのシステム条件」
4. 以上を確認しても印刷ができない場合は	■ **ソフトウェアをバージョンアップすることによって、トラブルが解消されることがあります。** エプソンのホームページから最新のソフトウェアをダウンロードし、インストールしてお試しください。 < http://www.i-love-epson.co.jp/guide/ink/ > ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ソフトウェアのバージョンアップ」

ドライバのインストール状態を確認（Windows）

①スキャナドライバのアイコンを確認

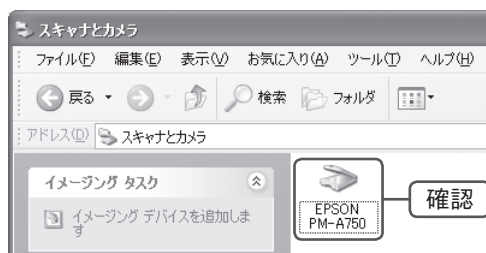
1 **USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。**

電源をオンにしないと、スキャナとして認識されません。

2 **［スキャナとカメラ］フォルダを開きます。**

Windows XP の場合
［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［スキャナとカメラ］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合
［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

3 **PM-A750 のアイコンがあるかを確認します。**

PM-A750 のアイコンがある

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされています。

続いて、プリンタドライバのインストール状態を確認してください。
☞ 次の「②プリンタドライバのアイコンを確認」

PM-A750 のアイコンがない

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされていません。

続いて、プリンタドライバのインストール状態を確認し、最後にドライバをインストールし直してください。
☞ 次の「②プリンタドライバのアイコンを確認」
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

②プリンタドライバのアイコンを確認

1 **USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。**

2 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。**

Windows XP の場合
［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

3 **PM-A750 のアイコンがあるかを確認します。**

PM-A750 のアイコンがある

プリンタドライバは正常にインストールされています。

次に、印刷先ポートの設定を確認してください。
☞本書 85 ページ「③印刷先のポートの設定を確認」

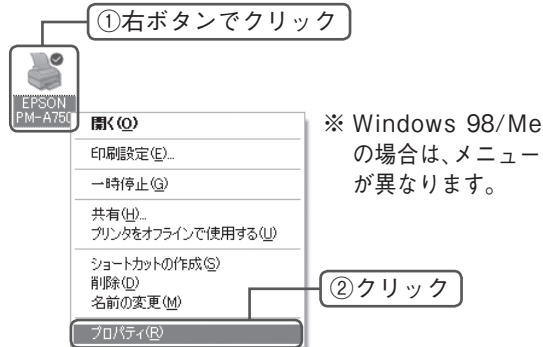
PM-A750 のアイコンがない

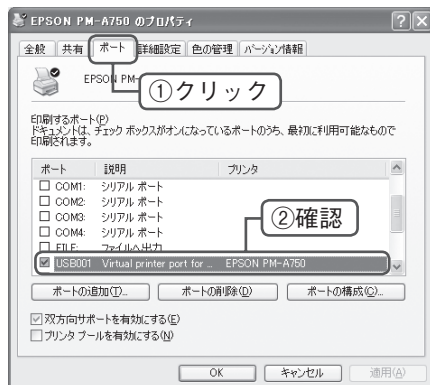
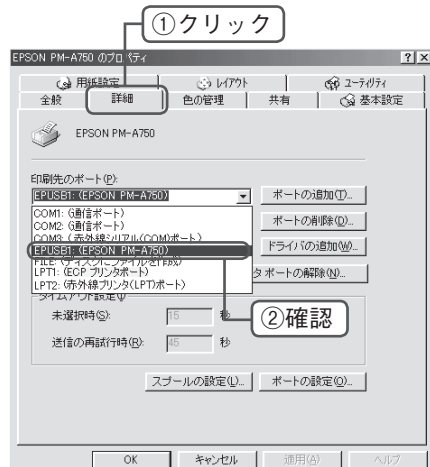
プリンタドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

③印刷先のポートの設定を確認

1 ［EPSON PM-A750］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

※ Windows 98/Me の場合は、メニューが異なります。

2 ポートの設定を確認します。

Windows 2000/XP の場合
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PM-A750］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

Windows 98/Me の場合
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx：(EPSON PM-A750)］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

USB ポートが選択されている

Windows 2000/XP の場合
複数の USB ポート（［USBxxx EPSON PM-A750］）が表示されている場合は、別の USB ポートを選択して印刷をお試しください。それでも印刷できない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

Windows 98/Me の場合
ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

USB ポート以外が選択されている

USB ポート（［USB］と［EPSON PM-A750］が表示されているポート）を選択し、印刷ができるかどうかを確認してください。

印刷できなかった場合は、ドライバをインストールし直してください。
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

USB ポートがない

USB ポート（［USB］と［EPSON PM-A750］が表示されているポート）がない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 86 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

！注意
［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

ドライバの再インストール（Windows）

スキャナドライバ / プリンタドライバをインストールし直します。

1 **本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。**

2 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

3 **『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。**

4 **以下の画面が表示されますので、［おすすめインストール］をクリックします。**

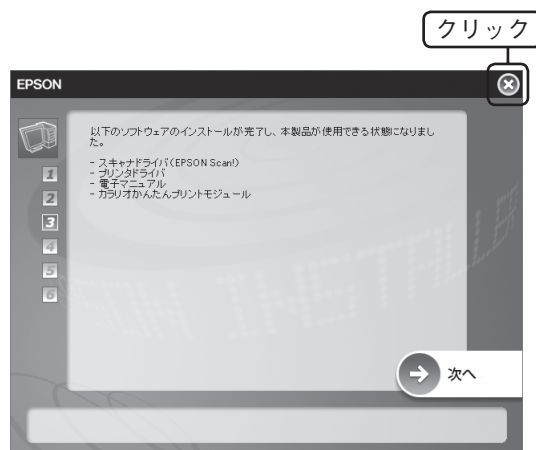
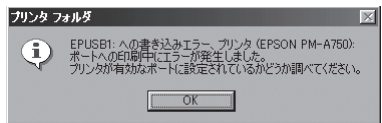
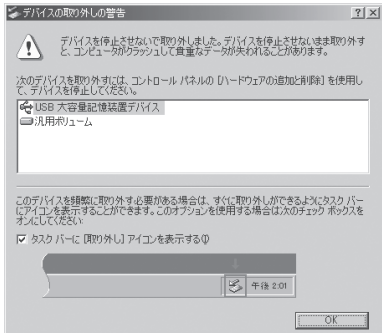
5 **［インストール］をクリックします。**

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考

電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 **ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。⊗をクリックして画面を閉じます。**

この後は画面の指示に従ってください。

参考

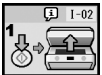
アプリケーションソフトを再インストールする場合は、[次へ] をクリックします。

7 **インストールが終了したら、原稿のスキャンや印刷を実行してみてください。**

その他のトラブル

＜パソコンにエラー画面が表示される＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
「用紙がセットされていません。」 などのエラー内容が表示される 	■ **本製品にエラーが発生している場合は、解除してください。** エラー内容の下に対処方法が表示されている場合は、その対処方法に従ってください。 何も対処方法が表示されていない場合は、以下のページを参照してエラーを解除してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」
「通信エラー」や「書き込みエラー」 などのメッセージが表示される 	■ **次の原因によって表示される可能性があります。** • プリンタドライバが正しくインストールされていない場合 • パソコンと本製品がケーブルで正しく接続されていない場合 • 「印刷先のポート」設定が、実際に本製品を接続しているポートと合っていない場合 以下のページにそれぞれの確認方法を説明していますのでご確認ください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」
Windows で、 「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」 と表示される 	■ **お使いのパソコンは USB2.0 に対応していません。** もし、パソコンに USB2.0 の差込口がある場合は、そこにケーブルを接続し直してください。USB2.0 の差込口がない場合でも、USB1.1 としてご使用いただけます。画面を閉じるには、右上の［×］をクリックします。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコン画面にエラーが表示される」
Windows 2000 で、 「デバイスの取り外しの警告」画面が表示される 	■ **パソコン起動中に本製品の電源をオフにすると表示されます。** パソコンの電源をオフにしてから、本製品の電源をオフにするようにしてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方」

＜その他のトラブル＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	■ **本製品にエラーが発生していませんか？** エラーが発生している場合は、解除してください。 また、インクがないときや残り少ないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞ 本書 58 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	■ **カラー印刷以外にも、カラーインクを使う場合があります。** 本製品では用紙種類によって、カラーインクを使った混色黒印刷を行う場合があります。また、印刷時以外にも、以下の動作時にブラック / カラーそれぞれのインクが消費されます。 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時 セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、すべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能で、印刷実行前などに自動的に行われます。 **＜クリーニング時にブラックとカラー両方のインクを使う理由＞** ノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたりして正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、カラーインクが出ないということでは使い物になりません。そのため、双方のノズルをクリーニングして、常に良好な状態にしておく仕組みになっています。
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	■ **印刷状況により異なりますが、連続印刷を行うと、用紙を送る動作やヘッドの動作が一旦停止するなど、印刷速度が遅くなることがあります。** これは、高温による製品内部の部品の損傷を防ぐためです。 印刷速度が遅くなっても、そのまま印刷を続けることはできますが、印刷を中断し電源をオンにしたまま 30 分程度放置することをお勧めします。（電源をオフにして放置しても回復しません。） その後印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	■ **多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。** このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。

エラー表示一覧

本製品にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージを確認し、下表の通り対処してください。

メッセージ		対処方法
E-01		■ **インクがなくなりました。** ×印の表示された色のインクカートリッジを交換してください。 ☞ 本書 58 ページ「インクカートリッジの交換」
E-02	**インクカートリッジが正しくセットされていません**	■ **インクカートリッジをセットし直してください。** 【スタート / 決定】ボタンを押した後、以下を参照してインクカートリッジをセットし直してください。 ☞ 本書 60 ページ「「インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法」手順2～11」
E-03	**用紙が正しくセットされていません**	■ **用紙をセットし直し、再度【スタート / 決定】ボタンを押してください。** ☞ 本書 15 ページ「基本的な用紙のセット方法」
E-04	**用紙が詰まりました**	■ **詰まった用紙を取り除いてください。** ☞ 本書 68 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
E-05	**用紙が横向きにセットされたため内部に詰まりました**	■ **名刺サイズ、またはカードサイズの用紙が内部に詰まりました。** 詰まった用紙と同じサイズの用紙を 1 枚縦方向にセットし、【スタート / 決定】ボタンを押してください。 それでもエラーが解除されない場合は、同じ操作を繰り返してください。
E-10	**オーダーシートが正しくセットされていません**	■ **オーダーシートを正しくセットし直し、再度【スタート / 決定】ボタンを押してください。** ☞ 本書 35 ページ「マークシート方式で簡単印刷<オーダーシート印刷>」-「②オーダーシートに記入して写真プリント」
E-11	**オーダーシートが正しくマークされていません**	■ **マーク方法に誤りがないかを確認した後、再度オーダーシートを原稿台にセットして【スタート / 決定】ボタンを押してください。** ☞ 本書 35 ページ「マークシート方式で簡単印刷<オーダーシート印刷>」-「②オーダーシートに記入して写真プリント」
E-12	**オーダーシートとメモリカードが一致していません**	■ **オーダーシートの内容と、メモリカード内の写真データの情報が一致しません。** 以下のどちらかの対処を行ってください。 • オーダーシートの内容と一致したメモリカードをセットして、【スタート / 決定】ボタンを押してください。 • メモリカードと一致したオーダーシートをセットして、【スタート / 決定】ボタンを押してください。
E-20	**手書き合成シートが正しくセットされていません**	■ **手書き合成シートを正しくセットし直し、再度【スタート / 決定】ボタンを押してください。** ☞ 本書 39 ページ「手書きの文字やイラストを合成して印刷」-［③合成シートをスキャンして合成写真プリント］
E-21	**手書き合成シートが正しくマークされていません**	■ **マーク方法に誤りがないかを確認した後、再度手書き合成シートを原稿台にセットして【スタート / 決定】ボタンを押してください。** ☞ 本書 38 ページ「手書きの文字やイラストを合成して印刷」-「②手書き合成シートに記入」
E-22	**手書合成シートとメモリカードが一致していません**	■ **手書き合成シートの内容と、メモリカード内の写真データの情報が一致しません。** 以下のどちらかの対処を行ってください。 • 手書き合成シートの内容と一致したメモリカードをセットして、【スタート / 決定】ボタンを押してください。 • メモリカードと一致した手書き合成シートをセットして、【スタート / 決定】ボタンを押してください。

次ページへ続く

	メッセージ	対処方法
E-30	写真が正しく認識できませんでした	■ **写真をセットし直して、再度実行してください。** ☞ 本書 26 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」
E-40	コマとコマの境が認識できませんでした	■ **フィルムをセットし直して、再度実行してください。** ☞ 本書 42 ページ「フィルムのセット方法」
E-50	インクが残り少ないため実行できません	■ **インク残量が少なくなっている時にはヘッドクリーニングは実行できません。新しいインクカートリッジに交換してから再度ヘッドクリーニングを実行してください。** ☞ 本書 58 ページ「インクカートリッジの交換」
E-90	システムエラーが発生しました	■ **本体にエラーが発生しました。** 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、本製品内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
E-91	廃インクパットの吸収量が限界に達しました	■ **廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に達しました。** お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
W-01	廃インクパットの吸収量が限界に近付いています	■ **廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に近付いています。** お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
W-10	メモリカードに写真データがありません	■ **メモリカード内にデータがあるか、データの形式に問題がないかをご確認ください。** ☞ 本書 28 ページ「メモリカードについて」-「印刷できる画像ファイル形式」
W-11	メモリカードが認識できません	■ **お使いのメモリカードが本製品に対応しているかどうかを確認し、再度セットし直してください。** ☞ 本書 28 ページ「メモリカードについて」-「使用できるメモリカードの種類」
W-20	接続された機器を認識できません	■ **サポートされていないデジタルカメラが接続されました。** デジタルカメラと本製品を接続している USB ケーブルを抜き、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してください。
W-30	アジャストレバーの位置が正しくありません	■ **アジャストレバーが封筒側（H）に設定されています。** アジャストレバーを用紙側（L）に設定し、再度【スタート / 決定】ボタンを押してください。 ※ 印刷擦れ対応のため、アジャストレバーを封筒側（H）に設定して印刷する場合は、エラー状態のまま再度【スタート / 決定】ボタンを押してください。
I-01		■ **インク残量を表示しています。** ☞ 本書 58 ページ「インクカートリッジの交換」-「インク残量の確認」
I-02		■ **インクカートリッジの交換中です。インクカートリッジを交換してください。** ☞ 本書 58 ページ「インクカートリッジの交換」
I-10	メモリカードがセットされていません	■ **メモリカードモードで印刷する場合には、メモリカードを正しくセットしてください。** ☞ 本書 29 ページ「メモリカードのセット方法」
I-20		■ **PictBridge に対応したデジタルカメラと接続されています。（正常な状態です。）**
I-21		■ **USB DIRECT-PRINT に対応したデジタルカメラと接続されています。（正常な状態です。）**
I-30	用紙の端に余白ができる場合があります	■ **四辺フチなし印刷時の拡大率（裁ち落とし量）が［少ない］または［より少ない］に設定された場合に表示されます（正常な状態です）。** 元の画面に戻るには【スタート / 決定】ボタンを押します。 ☞ 本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」

※廃インク吸収パッド：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品。

メッセージ		対処方法
I-40	アジャストレバーが切り替えられました	■ **アジャストレバーが封筒側（H）に設定されています。** このメッセージ画面は約 3 秒間表示された後、自動的に元の画面に戻ります。パソコンから封筒印刷をする際にはそのまま作業を続けてください。封筒以外の用紙に印刷する場合は、アジャストレバーを用紙側（L）に切り替えてください※。 ※ 印刷擦れ対応のため、アジャストレバーを封筒側（H）に設定して印刷する場合には、そのまま作業を続けてください。
I-41	アジャストレバーが切り替えられました	■ **アジャストレバーが用紙側（L）に設定されています。** このメッセージ画面は約 3 秒間表示された後、自動的に元の画面に戻ります。封筒以外の用紙に印刷する場合は、このまま作業を続けてください。パソコンから封筒印刷をする際にはアジャストレバーを封筒側（H）に切り替えてください。
I-50	パソコンと通信中	■ **パソコンからの印刷 / スキャン中です。（正常な状態です。）**
	処理中	■ **本体またはデータの処理中です。（正常な状態です。）**

困ったときは（トラブル対処方法）

トラブルが解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、『PM-A750 活用ガイド』をご覧ください

ドライバと同時にインストールされた『PM-A750 活用ガイド』の「トラブル対処方法」には、パソコン接続時のトラブル対処方法がより詳しく記載されています。
☞ 本書 54 ページ「活用ガイドの表示方法」

Windows をお使いの場合は
以下の画面からも、『PM-A750 活用ガイド』の「トラブル対処方法」を表示させることができます。

クリック

②クリック

『PM-A750 活用ガイド』がインストールされていない場合は、上のメッセージが表示されます。
[はい] をクリックすると、インターネットを通してエプソンのホームページへ接続します。

インターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をご覧ください

『PM-A750 活用ガイド』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をお勧めします。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。< http://www.i-love-epson.co.jp/faq >
上記『PM-A750 活用ガイド』の「インターネット FAQ のご案内」からも接続できます。

本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 93 ページ「サービス・サポートのご案内」

サービス･サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
本書 95 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

通信販売（消耗品 / オプション品）のご案内

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください（2005 年 7 月現在）。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://epson-supply.jp
お電話でのご注文	電話番号	0120 - 251- 528（フリーコール） ※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
	受付時間	月～金曜日　9:00 ～ 18:15 土曜日　9:00 ～ 17:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

お届け方法、お支払い方法など詳細につきましては、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」、および『PM-A750 活用ガイド』の「トラブル対処方法」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ず確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、本体が故障していないかご確認のうえ、お問い合わせください。

本体の動作確認方法

プリンタのパネル操作でノズルチェックパターンを印刷して、プリンタが故障していないか確認します。パソコンと接続していない状態でノズルチェックパターンを印刷することにより、プリンタが故障しているか確認できます。
①本製品の電源をオンにします。
②オートシートフィーダに用紙をセットします。
③【セットアップ】ボタンを押してノズルチェックを実行します。
本書 62 ページ「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが印刷できない

故障している可能性があります。
お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
本書 95 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

修理へ出す際は、以下のページをご確認ください。
本書 94 ページ「修理 / アフターサービスについて」
本書 65 ページ「輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意」

ノズルチェックパターンが印刷できる

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。
本書 95 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境（パソコンの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称をご確認の上ご連絡ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

保守サービスに関しての受け付け窓口

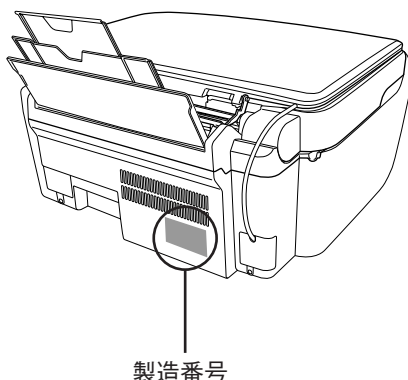
保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（本書 95 ページの一覧表をご覧ください。）
受付日時：月曜日〜金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
9：00 〜 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。下図のラベル内容をご確認ください。

本製品に関するお問い合わせ先

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570－090－090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
050-3155-8022 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、(042) 589-5251におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221－7911　東京(042)585－8500　名古屋(052)202－9532　大阪(06)6397－4359　福岡(092)452－3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。　http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120－251528）でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 6（A）

付録

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ先

読ん de!! ココパーソナル

エー･アイ･ソフト株式会社

TEL　：03-3376-7440
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
月曜～土曜日（祝祭日を除く）
※お問い合わせの際にお客様 ID をお尋ねします。あらかじめお客様 ID をご確認ください。

FAX　：0263-33-3052
ホームページ　：http://www.aisoft.co.jp/japanese/support/index.asp
※ FAX、インターネットでのお問い合わせに対する回答は、月曜日～金曜（祝祭日を除く）になります。お答えするまでに多少時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。

上記以外のソフトウェアに関するお問い合わせは、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
＜ http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/ ＞

製品仕様

技術的な仕様について記載しています。

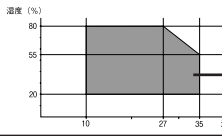
プリンタ部基本仕様

ノズル配列	黒インク：90 ノズル カラー:90 ノズル×３色（シアン、マゼンタ、イエロー）
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	最大 5760※× 1440dpi（パソコン接続時のみ対応） ※最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
紙送り方式	ASF 方式フリクションフィード
入力データバッファ	64KByte
モノクロ印刷モード	写真用紙以外へのモノクロ印刷：黒インクのみ使用 写真用紙へのモノクロ印刷：カラーインクでの混色黒印刷

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	CIS センサ
原稿サイズ	A4、US レターまで
最大有効領域	216 × 297mm
最大有効画素	主走査 10200 画素×副走査 14040 画素（1200dpi）
解像度	主走査：2400dpi※　副走査：2400dpi ※反射原稿の場合は最大 1200dpi での読み込みになります。
読み取り解像度	50 ～ 4800（1dpi 刻みで設定可能）、7200dpi、9600dpi
階調	16bit（入力）/1、8bit（出力）
読み取り時間	•1200dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ：6.5msec/line フルカラー：20msec/line

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	黒インクカートリッジ：ICBK32 カラーインクカートリッジ： ICC32（シアン）:ICM32（マゼンタ）:ICY32（イエロー）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から６ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合１ヵ月以内） 本体装着時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合１カ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 12.7mm ×奥行き 73.46mm ×高さ 55.25mm

参考

- インクは -16℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で３時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。
- 初めて取り付けるインクカートリッジでは、本製品を印刷可能な状態にするためにもインクが使用されるため、２回目以降に取り付けるインクカートリッジに比べて印刷できる枚数は少なくなります。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	0.4A
消費電力	コピー時：平均約 13W（ISO/IEC 10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード時：約 6W スリープモード時：約 1.5W
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2、VCCI クラス B に適合

総合仕様

プリントヘッド寿命	60 億ショット（1 ノズルあたり）
温度	動作時：10℃～ 35℃ 保存時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合１ヶ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80％（非結露） 保存時：5 ～ 85％（非結露）
	湿度（%） 80 55 20 / 10 27 35 温度（℃） この範囲で使用してください。
製品質量	約 7.8kg
製品外形寸法	幅 432mm ×奥行き 413.2mm ×高さ 198.8mm（用紙サポート含まず）

環境基本仕様

消費電力	コピー時：平均約 13W（ISO/IEC10561 レターパターン原稿） 低電力モード時：約 6W スリープモード時：約 1.5W 電源オフ時：約 0.2W ※ 消費電力を 0W にするためには、電源ボタンで電源をオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては本書 94 ページをご覧ください。
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後６年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後６年
適合規格	国際エネルギースタープログラム 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

USB インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Device Version1.1（プリンタ部）		
転送速度	480Mbps（High Speed Device）		
適合コネクタ	USB Series B		
入力コネクタにおける信号の配列および信号の説明			
ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	−	ケーブル電源、最大電流 2mA
2	-DATA	双方向	データ
3	+DATA	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground −	−	ケーブルグラウンド

USB ケーブルについて

本製品に付属のケーブルをお使いください。

接続条件

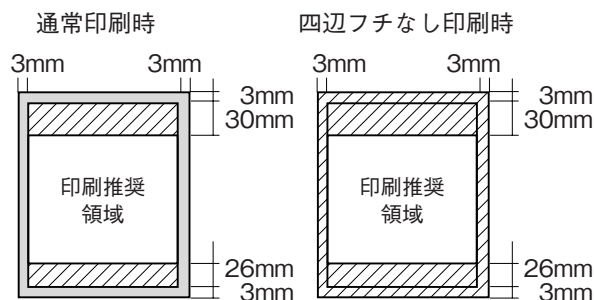
- Windows 98/Me/2000/XP プレインストールパソコン、または Windows 98/Me/2000 プレインストールモデルからアップグレードしたパソコン
- USB インターフェイスを標準搭載した Macintosh

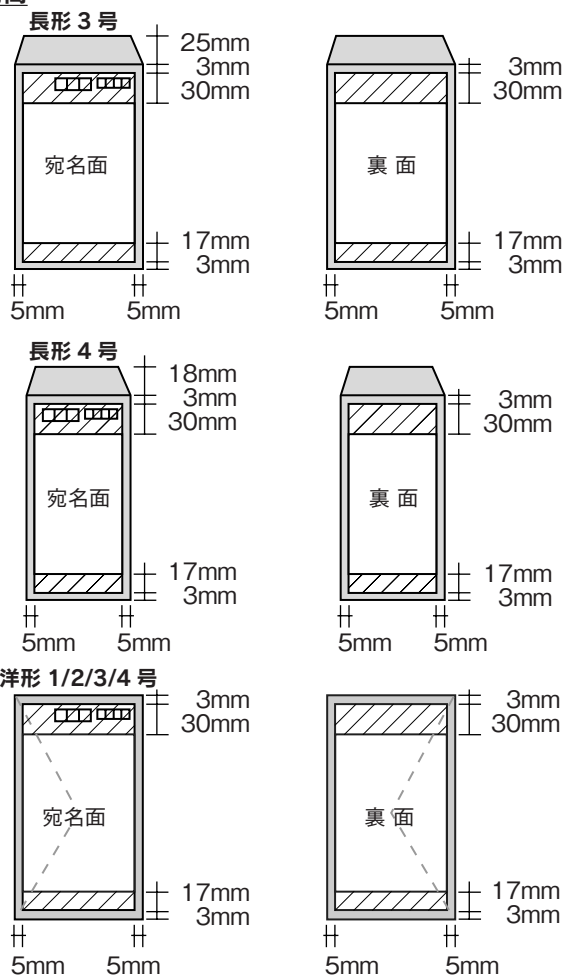
USB2.0 対応について

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、パソコン側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のパソコンをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP、Mac OS X v10.2.7 以降です。Windows 98/Me、Mac OS 9、Mac OS X v10.2.6 以前では、USB1.1 として動作します。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
- USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）

印刷領域

下図のグレーの部分には印刷できません。また、本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下する場合があります。

定形紙

※ 用紙幅が 216mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。

封筒

※印刷データによっては、印刷品質が低下する場合があります。

Apple の名称、Macintosh、iMac は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

MagicGate、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティック Duo、メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、および MEMORY STICK PRO、Memory Stick ロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SD メモリーカード、SD ロゴは、（株）東芝、松下電器産業（株）、米国 SanDisk 社の商標です。
xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム（株）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品は USB DIRECT-PRINT に対応しています。本製品は USB DIRECT-PRINT 対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
トラブル解決アシスタント、EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
本製品が対応している Mac OS のバージョンは、Mac OS X v 10.2 以降です。
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、「Mac OS X」と表記しているところがあります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

索引

ここに記載する索引は、本製品をパソコンと接続しないで使用する場合に必要な項目です。パソコンと接続して使用する場合の使用方法の詳細は、『PM-A750 活用ガイド』をご覧ください。

☞ 本書 54 ページ「活用ガイドの表示方法」

数字

アルファベット

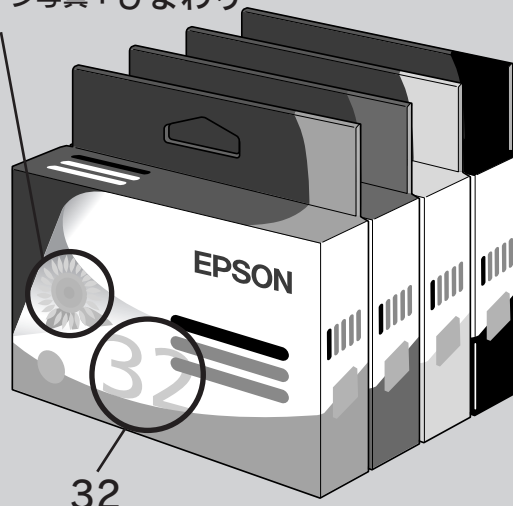
五十音

付録

インクカートリッジの型番

シアン	：ICC32
マゼンタ	：ICM32
イエロー	：ICY32
ブラック	：ICBK32

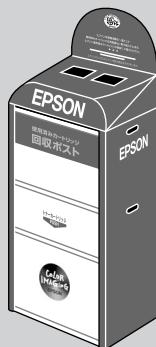
お得な４色パックもあります。

４色パック	：IC4CL32

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

インクカートリッジの回収について

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社は、環境保全の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」エプソン製品取り扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。

使用済みインクカートリッジは最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

使用済みインクカートリッジの回収によるベルマーク運動

弊社は、使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。

この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会的貢献を行っております。

詳細は、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

MEMORY STICK PRO

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。本書はリサイクルに配慮して作成しています。不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

410514801

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

PM-A750 操作ガイド

EPSON